本文

特 70448 号

官報 第七千四十八號 明治三十九年十二月二十五日 火曜日 印刷局

○勅令

朕種禽及種卵ノ拂下代金納付ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十九年十二月二十四日

農商務大臣 松岡康毅

勅令第三百十六號

種牛牧場ノ保管ニ屬スル種禽及種卵ノ拂下代金ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕種豚種付料ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十九年十二月二十四日

農商務大臣 松岡康毅

勅令第三百十七號

種牛牧場ノ保管ニ屬スル種豚ノ種付ヲ受クル者ハ種付料ヲ納付スヘシ

種付料ヲ納付スヘキ種豚及其ノ種付料ハ主務大臣之ヲ定ム

種付料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○府令

統監府令第四十九號

統監府鐵道管理局運輸營業規程左ノ通定ム

明治三十九年十二月十一日

臨時統監代理韓國駐箚軍司令官 男爵長谷川好道

統監府鐵道管理局運輸營業規程

第一章 總則

第一條 運輸營業ハ本規程ニ依リ之ヲ行フ但シ特別ノ契約ニ依ルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二條 鐵道係員ハ運輸上ノ安全便益ヲ旨トシ旅客及公衆ニ對シ懇切ニ其ノ職務ヲ行フヘシ

第三條 旅客及公衆ハ本規程ヲ遵守シ且鐵道係員ノ職務上ノ指圖ニ從フヘシ

第四條 左ノ場合ニ於テハ旅客又ハ貨物ノ運送ヲ謝絶スルコトアルヘシ

一 旅客又ハ公衆カ本規程其ノ他鐵道運送ニ關スル規定ヲ遵守セサルトキ

二 運送ニ關シ特別ナル責務ノ條件ヲ求ムルトキ

三 列車中座席ノ餘裕ナキトキ又ハ車類ノ不足其ノ他已ムヲ得サル事由ニ基因スル運送上ノ支障アルトキ

四 法令ノ規定又ハ公ノ秩序若ハ善良ノ風俗ニ反スルトキ

第五條 不可抗力ノ爲生スル旅客貨物ノ損害ニ付テハ賠償ノ責ニ任セス

第六條 運賃及哩程計算上端數ヲ生スルトキハ一錢未滿ハ一錢ニ切上ケ一哩未滿ハ一哩ニ切上ク

第七條 重量ハ一斤ヲ百六十匁一噸ヲ千六百八十斤トス

第八條 運賃其ノ他料金ノ償還ノ債權ハ五年間之ヲ行ハサルトキハ鐵道ハ支拂ノ責ニ任セス

第九條　停車場ニハ太規程、旅客及貨物ノ運賃其ノ他料金表竝本規程ニ掲ケサル鐵道ノ取締ニ關スル必要事項ノ摘要ヲ掲示ス

第十條　車輛停車場其ノ他鐵道用地内ノ標識、掲示類、諸器械、建造物、柵垣等ヲ塗抹、改竄若ハ毀損スル者ニハ相當ノ賠償金ヲ支拂ハシム

第二章　旅客運送

第十一條　旅客ハ所定ノ運賃ヲ支拂ヒ乘車券ヲ受領シ乘車スヘシ

第十二條　乘車券ハ一等、二等及三等ノ三種トシ等級ニ依リテ各停車場間ノ運賃ヲ定ム

特種扱ノ乘客ニ對シテハ特種乘車券ヲ發行スルコトアルヘシ

第十三條　四年未滿ノ小兒ハ無賃滿四年以上十二年未滿ノ小兒ハ半賃金ヲ以テ運送ス

第十四條　乘車券ニハ通用區間、通用期限、客車ノ等級、運賃額竝發行ノ日附ヲ記載ス

特種及臨時發行ノ乘車券ニハ前項ノ記載事項ヲ省略スルコトアルヘシ

第十五條　停車場ニ於テハ少クトモ列車ノ出發時刻十五分前ニ乘車券ノ賣出ヲ開始ス

列車出發時刻前五分後ハ出札ヲ停止スルコトアルヘシ

第十六條　旅客ハ乘車前乘車券ノ改鋏ヲ受ケ其ノ等級相當ノ車室ニ乘車スヘシ

改鋏ナキ乘車券ハ無效トスルコトアルヘシ

改札口ハ列車出發時刻前一分ニ至レハ之ヲ閉鎖スルコトアルヘシ

第十七條　旅客ハ改鋏前ニ在リテハ其ノ買受ケタル乘車券ヲ他級ノ乘車券ト交換シ又ハ之ヲ返還シテ運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得但シ運賃ノ拂戻ヲ爲スハ乘車券發行ノ當日ニ限ル

乘車券相當ノ座席ナキ場合ニ於テ係員ニ申告シテ旅行ヲ止メ又ハ劣等車ニ移乘スル旅客ニ對シテハ其ノ請求ニ因リ運賃ノ金額又ハ差額ノ拂戻ヲ爲ス

但シ旅客任意ニ旅行ヲ中止スルトキハ此ノ限ニ在ラス

前二項ノ場合ヲ除クノ外運賃ノ拂戻ヲ爲サス

第十八條　五十哩未滿ノ乘車券ヲ所持スル者途中停車場ニ下車スルトキハ再ヒ他ノ列車ニ乘繼クコトヲ得ス

五十一哩以上ノ乘車券ヲ所持スル旅客ハ該乘車券通用期限内ハ途中指定ノ停車場ニ限リ下車シテ再ヒ他ノ列車ニ乘繼クコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ旅客ハ乘繼停車場係員ニ乘車券ヲ示シ改鋏ヲ受クヘシ

乘車券ノ通用期限左ノ如シ

五十哩迄　發行當日限
五十一哩以上百哩迄　發行當日共二日間
百一哩以上ハ百哩若ハ其ノ未滿ヲ增ス每ニ一日ヲ加フ

第十九條　乘車券ハ其ノ通用區間中何レノ部分ニ付テモ前條ノ範圍ニ於テ使用スルコトヲ得但シ特種ノ列車ニ付特別ノ定ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

第二十條　天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ列車ノ運轉ヲ中斷スルトキハ旅客ノ請求ニ因リ既ニ通過セル線路ニ相當スル運賃ヲ控除シ殘額ノ拂戻ヲ爲シ且出發停車場ニ無賃送還ス

第二十一條　列車遲延ノ爲相當ノ時間中ニ接續スル列車ニ乘車スルコトヲ得サルトキハ連絡乘車券ヲ有スル旅客ニ限リ其ノ請求ニ因リ無賃ニテ出發停車場ヨリノ運賃（途中下車セルトキハ其ノ最近下車停車場）ニ送還シ出發停車場トノ間ニ相當スル運賃ヲ控除セタル殘額）ヲ拂戻ス但シ旅客カ次回ノ返リ列車ヲ以テ中斷ナク復歸スルトキニ限ル

第二十二條　事故ノ爲列車發著ノ遲延、運轉ノ中斷等アルトキハ關係停車場ニ之ヲ掲示ス

第二十三條　旅客ハ乘車券指定ノ到著停車場ニ於テ乘車券ヲ鐵道係員ニ交付スヘシ

第二十四條　旅客ハ鐵道係員ノ請求アルトキハ何時ニテモ乘車券ヲ呈示シ檢査ヲ受クヘシ

第二十五條　左記各號ノ一ニ該當スル旅客アルトキハ其ノ乘車區間又ハ乘繼區間ニ相當スル賃金ヲ徵收シ尙別ニ定ムル所ノ增賃金ヲ徵收ス

一　乘車券ヲ所持セス又ハ無效乘車券ヲ以テ乘車スル者

二　乘車券面記載ノ區域外ニ乘越ヲ爲ス者

三　乘車券面ニ指示スルモノヨリ優等車ニ乘車スル者

前項第一號及第二號ノ場合ニ於テ乘車停車場不明ナルトキハ其ノ列車ノ始發停車場ヨリノ運賃ヲ徵收ス

第二十六條　鐵道係員ハ旅客ノ請求アルトキ又ハ必要ト認ムルトキハ座席ノ指定ヲ爲ス

旅客乘車中座席ヲ離レ特ニ之ヲ占置カサルトキハ他人之ヲ占取スルモ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第二十七條　旅客ハ列車出發ノ合圖アリタル後乘車スルコトヲ得ス

乘後レノ爲發行當日限通用乘車券ノ效用ヲ失セタルトキ遲滯ナク其ノ乘車券ヲ鐵道係員ニ提出シ有效ノ證明ヲ受クルトキハ其ノ翌日内ニ限リ該乘車券ヲ以テ目的地ニ向ヒ發スル列車ニ乘車スルコトヲ得

特ニ列車ヲ指定スル乘車券ノ通用期限ハ前項ノ規定ニ依リテ延長セラルルコトナシ

第二十八條　鐵道係員ハ列車カ停車場ニ到著スルトキ其ノ停車場ノ名稱、乘換アルトキハ其ノ旨竝停車時間五分以上アルトキハ其ノ時間ヲ喚呼スヘシ

旅客ハ列車カ停車場外ニ於テ停止スルトキ假令長時間ニ渉ルト雖鐵道係員ノ許諾ヲ得ルニ非サレハ下車スルコトヲ得ス

第二十九條　旅客ハ左ノ行爲ヲ爲スヘカラス

一　車内ニ於テ發砲スルコト

二　列車中旅客乘用ニ供セサル箇所ニ乘ルコト

三　運轉中乘降其ノ他危險ノ行爲ヲ爲スコト

四　同乘者ニ迷惑ヲ及ホス風體行爲ヲ爲スコト

五　肢體ヲ車外ニ出スコト

六　車内ノ器具裝飾ヲ汚損スルコト

七　爆弾ノ燃差煙草ノ吸殼及唾唾等ヲ唾壺外ニ投スルコト

八　線路係員、通行人等ニ危險ヲ與フルノ虞アル物品ヲ投リニ車外ニ投乘スルコト

第三十條　旅客自ラ携帶シ得ル物品ト雖座席ヲ塞キ又ハ不潔、臭氣等ノ爲同乘者ニ迷惑ヲ及ホスモノハ客車内ニ持込ムコトヲ得ス

旅客自ラ客車内ニ携帶スル物品ハ自ラ保管ノ責ニ任スヘシ

第三十一條　動物ハ客車内ニ携帶スルコトヲ得ス但シ犬ハ同乘者苦情ナキトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條　旅客ハ火藥類其ノ他危害ヲ及ホスヘキ虞アル物品ヲ客車内ニ携帶スルコトヲ得ス但シ少量ノ小銃用火藥類ハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條　傳染病患者、附添人ナキ重病人又ハ瘋癲者及附添人アルモ他ノ旅客ニ迷惑ヲ及ホスヘキ虞アル重病人又ハ瘋癲者ハ乘車スルコトヲ得ス

寢臺、鈎臺、駕籠等ニ載セタル患者ハ附添人ヲ同車セシメ貸切扱又ハ旅客緩急車ヲ以テ運送ニ應スルコトアルヘシ

此ノ場合ニ於テ患者及附添人ハ各相當ノ乘車券ヲ所持スヘシ尙寢臺、鈎臺、駕籠等ノ運搬具ニ付テハ相當運賃ヲ徵收ス

第三十四條　傳染病患者其ノ病症ヲ隱蔽シテ乘車シタルコトヲ發見スルトキハ直ニ下車セシム此ノ場合ニ於テハ既ニ支拂ヒタル運賃ヲ還付セス

第三十五條　旅客乘車中ニ於テ傳染病ヲ發スルトキハ直ニ下車セシム此ノ場合ニ於テハ既ニ通過セル線路ニ相當スル賃金ヲ控除シ其ノ殘額ヲ拂戻ス

第三章　手小荷物運送

第三十六條　旅客カ其ノ旅行ニ必要ナル携帶旅具類ニ限リ手荷物トシテ旅客ト同一列車ヲ以テ運送ス

第三十七條　手荷物ハ一等旅客一人ニ付百斤、二等同六十斤、三等同三十斤迄無賃トス此ノ制限ヲ超過スルトキハ其ノ超過斤量ニ付別ニ定ムル所ノ手荷物賃金ヲ徵收ス

半賃金ニテ運送スル小兒ノ無賃手荷物制限ハ前項ノ半量トス

第三十八條　斤量ニ依リ運賃ヲ定メサル特定品ハ手荷物ノ取扱ヲ爲サス總テ小荷物トシテ之ヲ取扱フ

前項物品ノ種類運賃ハ之ヲ停車場ニ掲示ス

第三十九條　前條ノ物品ハ旅客ノ請求ニ因リ旅客ト同一列車ヲ以テ運送ス

第四十條　手荷物車ヲ以テ運送スルニ適スル荷物ハ小荷物トシテ旅客列車ヲ以テ運送ス

第四十一條　行商人及呼賣商人ノ携帶スル商品ハ其ノ請求ニ因リ小荷物トシテ旅客ト同一列車ヲ以テ運送ス

第四十二條　手小荷物ハ物品ノ散逸セサル樣錠鎖緊束シ紛ラハシキ他ノ運送標記等ヲ附著スヘカラス

第四十三條　左記ノ物品ハ手小荷物トシテ託送スルコトヲ得ス

一　貨幣、有價證券、其ノ他高價品、動物

二　火藥類及危害ヲ他ニ及ホスヘキ虞アル物品

三　臭氣ヲ發シ若ハ不潔ナル物品

四　容積、重量過大ナル物品

第四十四條　手小荷物ノ託送ヲ受クルトキハ託送停車場ニ於テ引換ノ符標ヲ交付シ到著停車場ニ於テ之ト引換ニ引渡ヲナス

第四十五條　手小荷物引渡ノ際前條引換ノ符標ヲ所持セサル者ニ對シテハ其ノ受取ルヘキ權利アルコトヲ證明スルカ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ之カ引渡ヲ爲サス

第四十六條　旅客ト同一列車ヲ以テ運送スル手荷物ニ限リ時間其ノ他取扱ニ差支ナキトキハ旅客ノ請求ニ應シ中間停車場ニ於テ之カ引渡ヲ爲スコトアルヘシ此ノ場合ニ於テ有賃ニ係ルモノハ運賃ノ拂戻ヲ爲サス

前項ノ場合ニ於テハ旅客ハ豫メ係員ニ乘車券ヲ呈示シ引渡ヲ請求スヘシ

第四十七條　旅客ト同一列車ヲ以テ運送スル手小荷物ヲ託送セムトスル者ハ列車出發時刻ヨリ少クトモ五分前迄ニ其ノ乘車券ヲ係員ニ呈示シ託送ノ手續ヲ爲スヘシ然ラサレハ次回ノ列車ヲ以テ運送セラルルモ故障ヲ述フルコトヲ得ス

第四十八條　小荷物（旅客ト同一列車ヲ以テ運送スルモノヲ除ク）ヲ託送セムトスル者ハ列車出發時刻ヨリ少クトモ二十分前迄ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十九條　一旦託送シタル手荷物斤量カ第三十七條ノ制限内ナル場合ニ於テモ其ノ同一乘車券ニ依リ再ヒ無賃手荷物ヲ託送スルコトヲ得ス

第五十條　旅客カ金屬製手荷物引換符標ヲ紛失又ハ毀損スルトキハ一箇ニ付金三十錢ノ辨償金ヲ到著停車場ニ於テ徵收ス

第五十一條　到著後二十四時間内ニ引取ラサル手小荷物ニ付テハ以後二十四時間若ハ其ノ未滿ヲ增ス每ニ別ニ定ムル所ノ保管料ヲ徵收ス

第五十二條　惡意又ハ重大ナル過失ニ因ラサル手荷物ノ滅失又ハ毀損ニ付テハ旅客一人ニ對シ金百圓以内ニ限リ損害賠償ノ責ニ任ス

第五十三條　天災事變ノ爲列車ノ運轉ヲ中斷スル場合ニ於テ旅客ヲ無賃送還スルトキ該旅客ノ託送セル手荷物ノ取扱ハ旅客取扱ノ例ニ依ル

第五十四條　手小荷物運送ニ關シテハ本章ニ定ムルモノヲ除クノ外第七章ノ規程ヲ準用ス

第 70148 号

第四章　死體運送

第五十五條　死體ハ棺槨ニ密塞シ列車始發停車場ニ於テハ其ノ發車時刻ヨリ少クトモ六時間前迄ニ中間停車場ニ於テハ同時刻ヨリ少クトモ十二時間前迄ニ託送ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十六條　死體ヲ託送セムトスル者ハ死亡證書ヲ呈示シ且託送狀ニ其ノ寫ヲ添附スヘシ

第五十七條　死體運送ニハ託送人ニ於テ附添人ヲ附スヘシ

前項附添人ヲ特約アル場合ヲ除クノ外乘車券ヲ所持スヘシ

第五十八條　死體ハ手荷物車又ハ有蓋車ヲ以テ運送ス

第五十九條　死體ハ到達後速ニ之ヲ引取ルヘシ若シ六時間內ニ引取ラサルトキハ鐵道ハ相當ノ處置ヲ爲シ引取遲延ノ爲生スル費用ヲ託送人ヨリ徵收ス

第五章　貴重品運送

第六十條　貴重品ノ品目ハ停車場ニ掲示ス

第六十一條　貴重品ハ嚴重ニ包裝封印シ列車出發時刻ヨリ少クトモ三十分前迄ニ託送ノ手續ヲ爲スヘシ

貴重品ヲ託送セムトスル者ハ運送狀ヲ差出スヘシ

第六十二條　貴重品運送ハ特ニ列車ヲ指定スルコトアルヘシ

第六十三條　到著後二十四時間內ニ引取ラサル貴重品ニ付テハ以後六時間若ハ其ノ未滿ヲ增ス每ニ別ニ定ムル所ノ保管料ヲ徵收ス

第六十四條　貴重品ノ滅失又ハ毀損ニ付テハ荷送人カ託送ノ際其ノ物品ノ種類性質及價格ヲ明告シ別ニ定ムル所ノ增賃金ヲ支拂ヒタル場合ニ限リ損害賠償ノ責ニ任ス

第六十五條　貴重品ノ運送ニ關シテハ本章ニ定ムルモノヲ除クノ外旅客列車便ニ依ルモノハ第三章貨物列車便ニ依ルモノハ第七章ノ規程ヲ準用ス

第六章　動物運送

第六十六條　手荷物車ヲ以テ運送スルニ適スル小動物ハ旅客列車（混合列車亦同シ）ヲ以テ運送ス

第六十七條　旅客ノ携帶スル小動物ハ旅客ノ請求ニ因リ旅客ト同一列車ヲ以テ運送ス

第六十八條　旅客ノ携帶スル犬ヲ除クノ外小動物ハ逸出ノ虞ナキ樣籠、網若ハ箱等ニ入レ託送スヘシ

第六十九條　旅客列車（混合列車亦同シ）ニ依ル小動物ノ運送ニ關シテハ前各條ニ定ムルモノヲ除クノ外小荷物運送ニ關スル規程ヲ準用ス

第七十條　小動物ヲ除クノ外動物ヲ託送セムトスル者ハ豫メ其ノ申込ヲ爲シ列車出發時刻ヨリ少クトモ一時間前迄ニ之ヲ停車場ニ送致スヘシ

第七十一條　動物託送ニ際シ必要ト認ムルトキハ附添人ヲ請求スルコトアルヘシ

牛馬運送ノ附添人ハ一車ニ二人ヲ限リ無賃トス其ノ以外ノ附添人ハ三等乘車券ヲ所持スヘシ

動物附添人ハ動物ヲ監視シ係員ノ認諾ヲ受クルニ非サレハ他車ニ轉乘スルコトヲ得ス

附添人ハ藁、枯草等燃ニ易キ物品アルトキハ喫煙具及發火シ易キ物品ヲ車中ニ携帶スルコトヲ得ス

第七十二條　猛獸ヲ託送セムトスル者ハ逸走若ハ危害防止ノ爲充分ナル羈絆ヲ施スヘシ

第七十三條　動物ハ其ノ到達停車場ニ於テ直ニ之カ引取ヲ爲スヘシ運送中ハ勿論到著後若シ引取ヲ爲ササルモ鐵道ハ飼養ノ責ニ任セス

第七十四條　惡意又ハ重大ナル過失ニ因ラサル牛馬其ノ他獸類ノ紛失、損傷等ニ付テハ荷送人カ託送ノ際價格ヲ明告シ別ニ定ムル所ノ增賃金ヲ支拂ヒタル場合ニ限リ損害賠償ノ責ニ任ス

第七十五條　動物ノ運送ニ關シテハ本章ニ定ムルモノヲ除クノ外第七章ノ規程ヲ準用ス

第七章　大貨物運送

第七十六條　大貨物ハ貨物列車ヲ以テ運送ス

第七十七條　大貨物ヲ託送セムトスル者ハ運送狀ヲ添ヘ取扱時間內ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

大貨物ノ取扱時間ハ日出ヨリ日沒迄ノ間トス但シ時宜ニ依リ之ヲ變更スルコトアルヘシ

第七十八條　大貨物ハ運送狀一通ヲ以テ一口トス

第七十九條　大貨物ハ託送ノ順序ニ依リ運送ス但シ運輸上正當ノ事由若ハ公益上ノ必要アルトキハ此ノ限ニ在ラス

當日發送スルヲ得ヘキ場合ヲ除クノ外其ノ受附ヲ謝絕スルコトアルヘシ

第八十條　運送上ニハ左ノ事項ヲ揭ケ荷送人ハ記事ノ正確ナルコトニ付其ノ責ニ任スヘシ

一　運送狀作成ノ地及年月日

二　發送停車場ノ名稱

三　到達停車場及所屬鐵道名

四　荷受人ノ氏名又ハ商號及住所

五　貨物ノ品名、重量又ハ容積及其ノ荷造ノ種類、箇數竝記號

六　價格

七　運送便ノ種類

八　運賃ノ支拂方法

九　荷物引換證請求ノ有無

十　特約ノ條件アルトキハ其ノ事項

十一　荷送人ノ氏名又ハ商號及住所

運送狀式紙ハ停車場ニ備置キ荷送人ノ使用ニ供ス

第八十一條　託送ノ際荷送人ノ請求アルトキハ運送狀ノ謄本ヲ交付ス此ノ場合ニ於テハ別ニ定ムル所ノ手數料ヲ徵收ス

第八十二條　運送ノ爲特別ノ設備ヲ要スル貨物ハ其ノ設備アル場合ニ限リ託送ノ需ニ應ス

第八十三條　運送ヲ引受ケタル貨物ニ付テハ荷送人ニ貨物運送通知書ヲ交付シ引渡ヲ爲シタル貨物ニ付テハ荷受人ヨリ受領證ヲ徵ス

第八十四條　荷送人ノ請求アルトキハ貨物引換證ヲ交付ス

此ノ場合ニ於テハ別ニ定ムル所ノ手數料ヲ徵收シ貨物運送通知書ヲ交付セス

第八十五條　貨物引換證ニハ左ノ事項ヲ揭ク

一　貨物引換證作成ノ地及年月日

二　第八十條第二號乃至第八號第十號及第十一號ニ揭クル事項

三　運送狀ノ受附番號

四　運賃增賃金料金ノ額及其ノ受否

貨物引換證ヲ交付スルトキハ本證ト引換ニ非サレハ到著貨物ノ引渡ヲ爲サス引渡請求人ハ本證ノ裏面ニ受取ノ旨ヲ記載シ署名捺印スヘシ

第八十六條　荷送人ハ貨物ノ性質ニ依リ運送中ノ減量又ハ毀損ヲ防クニ必要ナル荷造ヲ爲スヘシ

荷送人ハ貨物ノ各箇ニ品名、箇數、記號、宛名等ヲ明瞭ニ其ノ外面ニ表記スヘシ

第八十七條　貨物運賃其ノ他運送ニ關スル料金ハ貨物託送ノ際ニ之ヲ支拂フヘシ

第八十八條　鐵道ハ貨物ノ種類及性質ヲ明告スルコトヲ荷送人ニ求ムルコトアルヘシ若シ其ノ種類及性質ニ付疑アルトキハ荷送人ノ立會ヲ以テ之ヲ點檢ス

第八十九條　貨物ノ取扱ヲ斤扱、噸扱、速達便扱ノ三種トス斤扱ハ斤ニ依リ噸扱ハ噸ニ依リ賃金ヲ計算ス

第九十條　運送貨物一口二噸未滿ノモノヲ斤扱トシ同一品種ニシテ一口二噸以上ノモノヲ噸扱トス但シ二噸未滿ト雖二噸分ノ賃金ヲ仕拂フトキハ噸扱ニ依ル

第九十一條　貴重品及高價品ハ噸扱ヲ爲サス

第九十二條　噸扱貨物ニシテ特ニ列車ヲ指定シ運送ヲ望ムモノアルトキハ相當賃金ノ二倍ヲ以テ臨時之ニ應スルコトアルヘシ

第九十三條　斤ニ依リ賃金ヲ計算スル大貨物ハ五十斤未滿ヲ五十斤ニ切上ケ、噸ニ依リ賃金ヲ計算スルモノハ一噸未滿ヲ一噸ニ切上ク

第九十四條　哩程ニ依リ運賃ヲ計算スルトキハ十哩未滿ヲ十哩ニ切上ク

第九十五條　輕量品、嵩高品ニシテ其ノ重量一立方尺七斤ニ滿タサルモノハ一立方尺ヲ七斤ト計算ス

第九十六條　貨物ノ才積ハ其ノ幅、厚及長共最長度ノ部分ヲ曲尺ニテ測リ之ヲ相乘シ得タル數ニ依リ一立方尺未滿ハ一立方尺ニ切上ケ計算ス特ニ才積計算法ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九十七條　貨物ノ性質上荷造ヲ爲ササルカ又ハ荷造不完全ニシテ散亂ノ虞アルモノハ一車ヲ使用スルニ非サレハ託送ノ需ニ應セサルコトアルヘシ

第九十八條　貨主ノ請求ニ因リ少量貨物運送ノ爲特ニ一車ヲ使用スル場合ニ於テハ貨車標記ノ積載重量ニ依リ賃金ヲ計算ス

第九十九條　速達便扱ノ運賃ハ貨物ノ箇數ニ依リ一箇每ニ計算ス但シ一箇ノ量目二百斤以上若ハ才積四十立方尺以上又ハ長十五尺以上ノ貨物及生獸類

第百條　火藥類、危險品（劇藥、石油類、摺附木各種、火口、油紙、油布、生石灰）死體、特種貴重品（金銀貨、白銅貨、貴金屬、地金、銀寶石、金玉細工物、紙幣、郵便切手、同端書、收入印紙、有價證券、金錢ニ係ル證書類）ノ大貨物運送ハ臨時ノ約束ニ依ル

第百一條　一箇ノ重量五百斤以上若ハ其ノ才積三十才以上及長大ナル貨物ノ積卸ハ貨主ノ負擔トス但シ積載方法ニ關シテハ係員ノ指揮ニ依ルヘシ

第百二條　貨主カ貨物積卸ヲ負擔スル場合ニ於テ鐵道ノ器具ヲ使用スルトキハ相當ノ使用料ヲ徵收ス

第百三條　錠鎖保護ヲ要シ又ハ雨浸ヲ避クルノ必要アルモノ若ハ火氣ニ感シ易キ物品ハ有蓋貨車ヲ以テ運送ス但シ荷送人カ損害負擔ノ特約ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラス

第百四條　貨物カ到達停車場ニ到達スルトキハ直ニ荷受人ニ通知ス

第百五條　貨物ノ滅失又ハ毀損アルトキハ速ニ調査ヲ遂ケ書面ヲ以テ荷送人及荷受人ニ通知ス

第百六條　荷受人ノ請求アルトキハ貨物引渡ノ際重量ノ檢査若ハ貨物ノ狀態ニ付證明書ヲ交付ス

第百七條　荷送人ノ都合ニ依リ運送ヲ中止スルモ既納ノ賃金ハ拂戻ヲ爲サス

第百八條　高價品ノ滅失又ハ毀損ニ付テハ荷送人カ託送ノ際物品ノ種類、性質及價格ヲ明告シ別ニ定ムル所ノ增賃金ヲ支拂ヒタル場合ニ限リ損害賠償ノ責ニ任ス

第百九條　運送狀ニ記載シタル運送品ノ價格不相當ナリト認ムルトキハ相當ノ手續ニ依リ之カ訂正ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第百十條　運送貨物一口ノ中ニ賃金割增ヲ要スルモノヲ混シタル場合ニ於テ增賃金ノ仕拂ナキトキハ其ノ全部ニ付賠償ノ責ニ任セス

第百十一條　荷造ノ不備又ハ自然ノ腐敗、沸騰、漏洩、融解等ニ因リ生スル託送貨物ノ滅失毀損ニ付テハ賠償ノ責ニ任セス

第百十二條　到著後二十四時間內ニ引取ラサル貨物ニ付テハ以後二十四時間若ハ其ノ未滿ヲ增ス每ニ別ニ定ムル所ノ保管料ヲ徵收ス

第70148号

第百十三條　發送前ノ貨物若ハ到着貨物ニシテ貨主ノ都合ニ依リ自己ノ責任ヲ以テ之ヲ停車場構内ニ留置シ二十四時間ヲ經過シタルモノニ付テハ以後二十四時間若ハ其ノ未滿ヲ增ス毎ニ別ニ定メル所ノ留置料ヲ徵收スルコトアルヘシ

第百十四條　荷受人カ貨物ノ引取ヲ拒ミ若ハ荷受人不明ナルトキハ相當期間ヲ定メ荷送人又ハ荷受人ニ處分ヲ催告ス

前項ノ期間内ニ於テ荷送人又ハ荷受人カ貨物ノ處分ヲ爲ササルトキハ之ヲ公賣ニ付シ其ノ代金ヲ以テ債務ノ履行ニ充テ尚不足アルトキハ荷受人若ハ荷送人ニ請求シ剩餘アルトキハ之ヲ還付ス

附則

本規程ハ明治四十年一月一日ヨリ施行ス

統監府令第五十號

大貨物賃金左ノ通定メ明治四十年一月一日ヨリ施行ス

明治三十九年十二月十一日

臨時統監代理韓國駐箚軍司令官　男爵長谷川好道

大貨物賃金表

一　斤扱及噸扱大貨物及動物賃率

種類	品名	運賃計算上ノ單位	運賃率	最低運賃	備考
斤扱大貨物		百斤	二十哩以上五十哩迄ノ哩數ニ付五厘五十哩以上百哩迄ノ哩數ニ付七厘百哩以上二百哩迄ノ哩數ニ付九厘二百哩以上ノ哩數ニ付一錢	九錢	
噸扱大貨物		一噸哩	五錢四錢三錢二錢一錢五十錢		
動物	牛馬	一頭哩	十錢八錢六錢四錢二錢四圓		四頭以下ハ四頭分ヲ取ル
	駒犢羊豚	一頭哩	五錢四錢三錢二錢一錢四圓		八頭以下ハ八頭分ヲ取ル

一　車輛類賃率

種類	運賃率	
自轉車	一輛一哩ニ付金一錢五厘	荷車　一輛同
小兒車　同	金一錢五厘	荷馬車　同
人力車　同	金二錢五厘	馬車　同
轎子　一輛同	金二錢五厘	自働車　同

四　大貨物發著手數料

一　斤扱大貨物	百斤ニ付發著各	金二錢
二　噸扱大貨物	一噸ニ付同	金十五錢
三　牛馬	一頭迄同	金三十錢
二頭以上ハ一頭ヲ增ス毎ニ各		金五錢
四　駒犢羊豚	六頭迄發著各	金三十錢
六頭以上ハ三頭若ハ其ノ未滿ヲ增ス毎ニ各金五錢		

五　車輛類

自轉車	一輛ニ付發著各	金二錢　荷車　一輛同
小兒車　同	金一錢五厘	荷馬車　同
人力車　同	金二錢	馬車　同
轎子　一輛同	金二錢五厘	自働車　同

五　運輸營業規程第百八條ニ示ス高價品ノ增賃金

種類	賃率	
五十哩迄	百哩迄	二百哩迄	二百一哩以上
價格百圓若ハ其ノ未滿毎ニ	五錢	十錢	十五錢	二十錢

六　運輸營業規程第七十四條ニ示ス動物ノ增賃金

種類	賃率			
五十哩迄	百哩迄	二百哩迄	二百一哩以上
價格十圓若ハ其ノ未滿毎ニ	五錢	十錢	十五錢	二十錢

七　運輸營業規程第百十一條ニ示ス保管料

斤又ハ個數ヲ以テ取扱フ貨物	百斤若ハ其ノ未滿毎ニ　金五錢
噸ヲ以テ取扱フ貨物	一噸若ハ其ノ未滿毎ニ　金五十錢

八　運輸營業規程第百十三條ニ示ス留置料

一噸若ハ其ノ未滿毎ニ　金十錢

九　運輸營業規程第八十一條運送狀謄本第八十四條貨物引換證手數料

各一通　金五錢

統監府令第五十一號

手小荷物賃金左ノ通定メ明治四十年一月一日ヨリ施行ス

明治三十九年十二月十一日

臨時統監代理韓國駐箚軍司令官　男爵長谷川好道

手小荷物賃金表

一　手小荷物及蠶卵紙ノ運賃

哩數	一斤	二斤	三斤	四斤	五斤	六斤	七斤	八斤	九斤	十斤	十一斤	十二斤	十四斤	十六斤	十八斤	二十斤迄ノ運賃
五十哩未滿	七錢	七錢	七錢	八錢	九錢	一〇錢	一一錢	一二錢	一三錢	一五錢	一七錢	一九錢	二一錢	二三錢	以上五斤增ノ毎ニ木表ノ運賃ヲ加フ	
百哩未滿	七	七	七	九	一〇	一一	一二	一三	一五	一六	一八	二〇	二二	二四	二六	二〇
百五十哩未滿	七	七	八	一〇	一二	一四	一六	一八	二〇	二二	二五	二七	二九	三一	三三	一五
二百哩未滿	七	七	九	一二	一四	一七	二〇	二二	二五	二七	三〇	三二	三五	三七	三九	一八
三百哩未滿	七	八	一一	一四	一七	二〇	二三	二六	二八	三一	三四	三七	四〇	四二	四五	二〇
四百哩未滿	七	九	一三	一六	二〇	二三	二六	三〇	三三	三七	四〇	四三	四六	四九	五二	二二
五百哩未滿	七	一〇	一四	一八	二二	二六	三〇	三四	三八	四二	四六	四九	五三	五七	六一	二五
六百哩未滿	七	一一	一六	二一	二五	三〇	三四	三九	四三	四八	五二	五七	六二	六六	七一	二七
七百哩以上	八	一二	一八	二三	二八	三三	三八	四三	四八	五三	六三	七三	八三	九三	一〇三	二〇

水表ノ運賃ハ一箇毎ニ之ヲ計算ス

一　易損品及嵩高品（紙細工、漆器、造花、硝子器、帽子、輕キ家具、器械類其ノ他損シ易キカ又ハ輕量ニシテ嵩高ナル物品）ノ運賃ハ總テ本表ノ二倍トス

二　荷送人ヨリ特ニ易損品扱ヲ以テ運送方ヲ請求シタル物品ニ付テモ亦前號ノ運賃ニ依ル

二　行商人及呼賣商人ノ携帶スル商品（貴重品及鬱類ヲ除ク）ノ運賃

哩數	重量二十五斤未滿	重量二十五斤以上五十斤未滿	重量五十斤以上百斤迄
五十哩迄	二十錢	三十錢	四十錢
前記最高哩程又ハ斤量ヲ超過スルモノハ總テ其ノ物品ニ相當スル普通運賃ニ依ル			

三　新聞紙及雜誌ノ運賃ハ哩程ノ遠近ニ拘ハラス重量一斤ニ付金一錢最低運賃五錢トス

四　馬車、自働車、人力車、轎子、自轉車、小兒車、商品運搬車（空）ノ運賃

	一輛ニ付	最低運賃
馬車、自働車	金二十錢	金四圓
人力車、轎子（人力車ノ部ニ準ス）、自轉車、小兒車、商品運搬車	金三錢	金六十錢
但シ蔬菜自用ノ自轉車ハ一人一輛ニ限リ無賃トス尤モ無賃手荷物託送ノ權利ヲ有シテ手荷物ヲ託送セサル場合ニ限ル	金二錢	金四十錢

五　第一項第二項第七項ノ物品（第一項中水ニ入レタル活魚及第七項中白銅貨並引換證ヲ要行シタル物品ヲ除ク）ハ停車場所在地市内ニ限リ無料ヲ以テ配達ノ取扱ヲ爲ス

六

一　死體

死體ノ運賃ハ一箇一哩ニ付金二十錢最低運賃金四圓トス

但シ十二年未滿ノ小兒死體ハ半額トス

二　火葬還骨（箱又ハ壺ノ類ニ納メタルモノ）ノ運賃ハ第一項小荷物運賃ノ二倍トス

七

一　貴重品

第一種　白銅貨、生絲、絹絲、絹織物、同組物、同編物等ノ運賃ハ第一項小荷物運賃ニ同シ

二　第二種　金銀貨、貴金屬、地金、同細工物、寶玉石、同細工物及高價ナル鍍金銀器、美術工藝品、骨董品、綾織物、樂器、鏡、眼鏡、小間物等ノ運賃ハ第一項小荷物運賃ノ二倍トシ最低運賃金二十五錢トス

三　第三種　紙幣、郵便切手、同葉書、印紙、有價證券其ノ他金錢及物件ニ係ル證書類

	重量一斤ニ付
五十哩未滿	金二十錢
五十哩以上百哩未滿ヲ增ス毎ニ	同　金三十錢
百哩以上ハ百哩未滿ヲ增ス毎ニ	同　金十錢
但シ最低運賃金五十錢トス	

四　荷送人ヨリ特ニ貴重品扱ヲ以テ運送方ヲ請求シタル物品ハ其ノ物品ニ應シ前三號列記ノ第一種乃至第三種貴重品ニ準ス

五　貴重品ノ運送ニ對スル增賃金

	價格金百圓ニ付（金百圓未滿ヲ含ム）
五十哩未滿	金十錢
五十哩以上百哩未滿	同　金十五錢
百哩以上二百哩未滿	同　金二十錢
二百哩以上ハ二百哩未滿ヲ增ス毎ニ	同　金五錢

八

一　小動物

容器ニ入レタル小犬及其ノ他小動物ノ運賃ハ總テ第一項小荷物運賃ノ二倍トス

二　犬（容器ニ入レタル小犬ヲ除ク）ノ運賃

	一頭ニ付
五十哩未滿	金二十錢
五十哩以上百哩未滿	同　金三十五錢
百哩以上ハ百哩未滿ヲ增ス毎ニ	同　金二十錢
容車內ニ持込ム犬ハ前項ノ二倍トス	
但シ同乘者ノ苦情アリタル場合綴盒車ニ移ストモ前ニ徵收シタル料金ヲ還付セス	

三　小動物ノ運送ニ對スル增賃金

	價格金十圓ニ付（金十圓未滿ヲ含ム）
五十哩未滿	金十錢
五十哩以上百哩未滿	同　金十五錢
百哩以上二百哩未滿	同　金二十錢
二百哩以上ハ二百哩未滿ヲ增ス毎ニ	同　金五錢

九　運輸營業規程第五十一條ニ示ス保管料

一　託送手荷物通常小荷物、行商人及呼賣商人ノ携帶スル商品新聞紙雜誌ニ對スル保管料ハ一箇ニ付二十四時間若ハ其ノ未滿ヲ增ス毎ニ左ノ割合ニ依ル

重量三十斤未滿	金二錢
同三十斤以上百斤未滿	金四錢
同百斤以上	金六錢

第70148号

二　易損品、嵩高品（第一項第一號ノ物品）及貴重品ニ對スル保管料ハ前號ノ二倍トス

三　馬車、自働車ハ一輛ニ付二十四時間若ハ其ノ未滿ヲ增ス每ニ金十錢

四　人力車、轎子、自轉車、小兒車、商品運搬車ハ一輛ニ付二十四時間若ハ其ノ未滿ヲ增ス每ニ金五錢

十　手荷物受託後手荷物中ニ手荷物トシテ取扱フヘカラサル物品アリタルトキハ其ノ物品ニ對スル相當運賃ヲ追徵ス

十一　賃率異ナル小荷物ヲ一括シタル場合ニ於ケル運賃及保管料ハ賃率ノ高キモノニ依リ之ヲ計算ス

十二　小荷物受託後品種相違アリタルトキハ左記各號ニ依リ運賃ヲ追徵ス

一　品種相違ノ時ハ現品相當運賃ヨリ最初計算シタル運賃ヲ控除シタル差額

二　賃率ノ異ナル品種ノ物品ヲ混シタルトキハ該品種中賃率ノ最高ナルモノニ依リ全斤量ニ對スル運賃ヨリ最初計算シタル運賃ヲ控除シタル差額

統監府令第五十二號

統監府及理事廳巡査ノ在勤手當ニ關スル件左ノ通定ム

明治三十九年十二月十五日

臨時統監代理韓國駐劄軍司令官　男爵長谷川好道

統監府及理事廳巡査ノ在勤手當ノ月額ハ月俸ニ同シ但シ月俸十五圓以下ノ者ニハ十五圓ヲ給ス

附　則

本令ハ明治四十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ受クル在勤手當ハ之ヲ減額セス

統監府令第五十三號

在外指定學校職員俸給額規則左ノ通定ム

明治三十九年十二月十八日

臨時統監代理韓國駐劄軍司令官　男爵長谷川好道

在外指定學校職員俸給額規則

第一條　小學校若ハ實業補習學校ノ學科ヲ授クル學校又ハ之ニ準スヘキ學校ノ職員ノ月俸ハ第一號表ニ依ル但シ月俸三十圓未滿ノ者ニ限リ級俸ニ拘ラス適宜ノ金額ヲ定メ之ヲ支給スルコトヲ得

第二條　小學校若ハ實業補習學校ノ學科ヲ授クル學校又ハ之ニ準スヘキ學校ノ學校長又ハ訓導ニシテ一級俸ヲ受ケ特ニ功勞アル者ニハ漸次月俸百圓迄增スコトヲ得

第三條　中學校、高等女學校若ハ實業學校ノ學科ヲ授クル學校又ハ之ニ準スヘキ學校ノ職員ノ月俸ハ第二號表ニ依ル

第四條　中學校、高等女學校若ハ實業學校ノ職員ニシテ奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ノ年俸ハ第三號表ニ依ル

附　則

第五條　本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第六條　現ニ本令ニ規定スル俸給額ニ相當セサル俸給ヲ受クル者ハ當分ノ內現在ノ俸給支給スルコトヲ得但シ其ノ者ノ取扱ニ關シテハ其ノ俸給ニ最近キ上級ノ俸給ヲ受クルモノト看做ス

第七條　明治三十九年八月統監府令第二十九號ハ之ヲ廢止ス

第一號表

職名＼級	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級
學校長訓導	七十五圓	六十圓	五十圓	四十五圓	四十圓	三十五圓	三十圓	二十五圓	二十圓	十五圓
進訓導	三十圓	二十五圓	二十圓	十五圓	十二圓					

第二號表

職名＼級	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級
學校長教諭	百圓	八十圓	七十圓	六十圓	五十圓	四十五圓	四十圓	三十五圓	三十圓	二十五圓
助教諭監書記舍	七十五圓	六十圓	五十圓	四十五圓	四十圓	三十五圓	三十圓	二十五圓	二十圓	十五圓

第三號表

職名＼級	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級	十四級
學校長	三千二百圓	二千圓	千八百圓	千六百圓	千五百圓	千四百圓	千三百圓	千二百圓	千百圓	千圓	九百圓	八百圓	七百圓	六百圓
教諭	二千四百圓	千八百圓	千六百圓	千五百圓	千四百圓	千三百圓	千二百圓	千百圓	千圓	九百圓	八百圓	七百圓	六百圓	五百圓

教諭ニシテ十四級俸ヲ給スル者ハ女子ニシテ教諭タル者ニ限ル

統監府令第五十四號

在外指定學校職員手當及舍宅ニ屬スル件左ノ通定ム

明治三十九年十二月十八日

臨時統監代理韓國駐劄軍司令官　男爵長谷川好道

第一條　在外指定學校職員ニハ俸給ノ外手當及舍宅ヲ給ス但シ舍宅ハ當分ノ內舍宅料ヲ給シテ之ニ代フルコトヲ得

第二條　手當ノ額ハ俸給ノ十分ノ三以上舍宅料ノ額ハ五圓以上ニ於テ居留民團又ハ學校設立者若ハ其ノ代表者ニ於テ之ヲ定メ理事官ノ認可ヲ受クヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ明治四十年三月三十一日ヲ限リ明治三十九年八月統監府令第三十號ノ規定ニ依ルコトヲ得

○訓令

陸軍省訓令丙第三十二號

明治三十九年度當省所管歲入歲出科目表中ヘ左記ノ通增設ス

明治三十九年十二月二十五日　陸軍大臣　寺內正毅

歲出臨時部　△印增設

款	項	目	節
營繕費	新營費	△	步兵第十四聯隊給水鐵管布設

陸軍一般

統監府訓令第三十號

理事廳支廳ニ於テ其ノ所管ニ係ル歲入ノ徵收、歲入歲出現金ノ出納及物品ノ出納ヲ取扱フ官吏ハ副理事官トス

副理事官事故アルトキハ其ノ官ニ於テ屬又ハ通譯生ヲ以テ其ノ代理官ト指命スヘシ

出納官吏ノ交替ニ關シテハ明治三十九年八月統監府訓令第一號ニ依ル

明治三十九年十二月二十日

臨時統監代理韓國駐劄軍司令官　男爵長谷川好道

理事廳支廳

○告示

文部省告示第二百十八號

右ハ徵兵令第十三條及文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス

明治三十九年十二月二十五日　文部大臣　牧野伸顯

青森縣南津輕郡立農學校

文部省告示第二百十九號

山形縣米澤市立商業補習學校ノ組織ヲ變更シテ商業學校規程乙種程度トナシ米澤市立商業學校ト改稱シ明治四十年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十九年十二月二十五日　文部大臣　牧野伸顯

遞信省告示第五百九十八號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治三十九年十二月二十五日　遞信大臣　山縣伊三郎

| | | | | |

統監府告示第百四十一號

明治三十九年十二月十六日ヨリ當分ノ内左記郵便局所ニ於テ明治三十七年五月遞信省令第三十七號ニ依ル軍人軍屬ノ振出ス通常爲替ヲ取扱ハシム

明治三十九年十二月十三日　臨時統監代理韓國駐箚軍司令官　男爵長谷川好道

名稱	位置
光化門郵便局	漢城府中部壽福坊
鍾城東大門通郵便受取所	漢城府中部貞善坊大廟洞

統監府告示第百四十二號

本月十五日京城理事廳水原支廳ノ事務ヲ開始ス

明治三十九年十二月十五日　臨時統監代理韓國駐箚軍司令官　男爵長谷川好道

統監府告示第百四十三號

本月二十日仁川理事廳海州支廳ノ事務ヲ開始ス

明治三十九年十二月十五日　臨時統監代理韓國駐箚軍司令官　男爵長谷川好道

統監府告示第百四十四號

本月十八日城津理事廳鏡城支廳ノ事務ヲ開始ス

明治三十九年十二月十五日　臨時統監代理韓國駐箚軍司令官　男爵長谷川好道

統監府告示第百四十五號

本月二十日元山理事廳咸興支廳ノ事務ヲ開始ス

明治三十九年十二月十九日　臨時統監代理韓國駐箚軍司令官　男爵長谷川好道

關東都督府告示第四十四號

大連水道工事ノ爲本日午前十時ヨリ午後二時迄給水ヲ停止ス

明治三十九年十二月十五日　關東都督　男爵大島義昌

關東都督府告示第四十五號

本月二十一日ヨリ關東都督府郵便電信局大連支局及同安東縣支局ニ於テ明治三十三年九月遞信省令第四十六號電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報取扱ヲ開始ス但シ軍事電報ニ對シテハ當分ノ内本文ヲ適用セス

明治三十九年十二月十六日　關東都督　男爵大島義昌

正誤

去月二十七日官報統監府告示第百二十七號五七八頁下段二行目山電信取扱所ノ下「九町以内」ハ「鐵道停車場ヲ同書シ治ハ取扱所留置ノ指定アル電報ノ外配達セス」ノ誤

統監府書記官

○叙任及辭令

○明治三十九年十二月二十四日

陸軍技師從五位勳六等　佐々木善次郎
陸軍技師從五位　濱口雄幸
陸軍技師從五位　神山閏次
陸軍技師從五位　山口泰次郎
陸軍技師從六位　石井淳二郎
陸軍技師從六位　阿部德吉郎
陸軍技師從六位　原鶴次郎
陸軍技師從六位　神山隆文
陸軍技師從六位　平野捨三
陸軍技師從六位　池田敬八
陸軍技師從六位　高木幸文
陸軍技師從六位　岡村玉造
陸軍技師從六位　池田茂幸
陸軍技師從六位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直
陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直
陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直
陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直
陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直
陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直

陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直
陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直

陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直

陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直

陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直

陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直

陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直

陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直

陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直

陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直

陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直

陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直

陸軍技師從七位　濱口雄幸
陸軍技師從七位　神山閏次
陸軍技師從七位　山口泰次郎
陸軍技師從七位　石井淳二郎
陸軍技師從七位　阿部德吉郎
陸軍技師從七位　原鶴次郎
陸軍技師從七位　神山隆文
陸軍技師從七位　平野捨三
陸軍技師從七位　池田敬八
陸軍技師從七位　高木幸文
陸軍技師從七位　岡村玉造
陸軍技師從七位　池田茂幸
陸軍技師從七位　田昌
陸軍技師從七位　錫馬
陸軍技師從七位　野田
陸軍技師從七位　岡田虎輔
陸軍技師從七位　鶴崎重久
陸軍技師從七位　森田外與吉
陸軍技師從七位　足穂寶作
陸軍技師從七位　佐々木藤太郎
陸軍技師從七位　矢部規矩治
陸軍技師從七位　加藤源松
陸軍技師從七位　笠原實太郎
陸軍技師從七位　磯野定次郎
陸軍技師從七位　木本房太郎
陸軍技師從七位　東島權次郎
陸軍技師從七位　川島準次郎
陸軍技師從七位　佐伯第一
陸軍技師從七位　森本泉
陸軍技師從七位　大谷益雄
陸軍技師從七位　見玉史郎
陸軍技師從七位　早田鍬之助
陸軍技師從七位　大内喬茂
陸軍技師從七位　早川節三
陸軍技師從七位　坂井英五郎
陸軍技師從七位　大塚保治
陸軍技師從七位　古在由直

第7048號

（各通）
六級俸下賜
（各通）
二級俸下賜
（各通）
三級俸下賜
（各通）
五級俸下賜
（各通）
六級俸下賜
三級俸下賜
二級俸下賜
一級俸下賜
二級俸下賜
（各通）
三級俸下賜
（各通）
四級俸下賜
（各通）

稅務官　勝浦守次郎
稅務官　安田駒雄
稅務監督局技師　今井田收
鹽務局事務官　兒玉史郎
鹽務局事務官　大谷益雄
鹽務局事務官　須山榮
鹽務局事務官　松村敬俊
鹽務局事務官　林庸介
鹽務局事務官　永田錦之丞
鹽務局事務官　福田靜之助
鹽務局事務官　賀來權三郎
鹽務局事務官　城戸勝次郎
鹽務局事務官　塚本政之助
鹽務局事務官　鳩澤喜三郎
鹽務局事務官　平井茂次郎
鹽務局事務官　池川榮太郎
鹽務局事務官　矢野武一郎
樟腦事務局事務官　加藤源松
煙草專賣局部長　池袋秀太郎
煙草專賣局主事　阿部德吉郎
煙草專賣局主事　荒井寅治
煙草專賣局主事　原鶴次郎
煙草專賣局主事　神山隆文
煙草專賣局主事　平野捨三
煙草專賣局主事　池田敬八
煙草專賣局主事　溝口潤太
煙草專賣局主事　山口斐夫
煙草專賣局主事　田村周藏
煙草專賣局主事　藤田虎之助
煙草專賣局主事　馬詰次男
煙草專賣局主事　小野義一
煙草專賣局主事　水澤弘平
煙草專賣局主事　森正一郎
煙草專賣局主事　岡村高木幸文
煙草專賣局主事　今北策之助
煙草專賣局主事　池田玉造
煙草專賣局主事　茂幸

五級俸下賜
（各通）
六級俸下賜
二級俸下賜
（各通）
三級俸下賜
（各通）
五級俸下賜
（各通）
四級俸下賜
（各通）
六級俸下賜
七級俸下賜
八級俸下賜
九級俸下賜
（各通）
三級俸下賜
（各通）
十級俸下賜
十一級俸下賜
三級俸下賜（以上十二月二日大藏省）
故陸軍步兵軍曹大竹傳治郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金六百九拾圓ヲ賜フ

煙草專賣局主事　田昌
煙草專賣局主事　渡邊秉直
煙草專賣局主事　島田毅一
煙草專賣局主事　岡本實太郎
煙草專賣局主事補　野田錫馬
煙草專賣局主事補　松原十一郎
煙草專賣局主事補　村岸和兵衛
煙草專賣局主事補　植田精作
煙草專賣局主事補　鵜崎重久
煙草專賣局主事補　森田外与吉
煙草專賣局主事補　足穗寶作
煙草專賣局主事補　高芳雄
煙草專賣局主事補　安田惟光
煙草專賣局主事補　長廣恆一郎
煙草專賣局主事補　筒江侃
煙草專賣局技師　山口泰次郎
煙草專賣局技師　石井淳二郎
煙草專賣局技師　久門和忠
煙草專賣局技師　小林一
煙草專賣局技師　松谷謐三郎
煙草專賣局技師　片岡徹
煙草專賣局技師　岡田虎輔
煙草專賣局技師　大石明德
煙草專賣局技師　福永榮太郎
煙草專賣局技師　三島丈之助
煙草專賣局技師　谷本篤治
煙草專賣局技師　大津信正
煙草專賣局技師　肱黒誠吉
煙草專賣局技師　樺山十次
煙草專賣局技師　川崎喜藏
煙草專賣局主事補　林浦次郎
煙草專賣局主事補　五十嵐藏三郎
四月五百三十番地　大竹むら

故陸軍步兵上等兵島中淺之助明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金五百貳拾圓ヲ賜フ　島中もん
故陸軍步兵一等卒山本茂平明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ　山本久美代
故陸軍步兵一等卒石橋市之助明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ　石橋いし
故陸軍步兵一等卒小林幸治郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ　小林もり
故陸軍步兵一等卒加賀嘉七明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ　加賀フチ
故陸軍步兵一等卒山下增勞明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百七拾圓ヲ賜フ　山下キヨ
故陸軍步兵二等卒重田八太郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百四拾圓ヲ賜フ　重田ナカ
故陸軍步兵二等卒森部宇之太郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百四拾圓ヲ賜フ　森部貞尾
故陸軍步兵二等卒小池田二三明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金四百四拾圓ヲ賜フ　小池田傳右衛門
故陸軍步兵大尉松田馬佐明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金九百圓ヲ賜フ　松田チセ
故陸軍步兵軍曹渡邊彦明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百五拾圓ヲ賜フ　渡邊ハマ
故陸軍步兵伍長德竹慶之助明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百拾圓ヲ賜フ　德竹とみ
故陸軍步兵上等兵永田新藏明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百六拾圓ヲ賜フ　永田タケ
故陸軍步兵二等卒竹田清兵衛明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ　竹田わき

青森縣東津輕郡今別村大字大川平六十八番戶
千葉縣山武郡東金町北之幸谷百八十番地　伊藤トク
岡山縣後月郡共和村大字上鳴千八百三十八番地　山本久美代
青森縣三戶郡名久井村大字高瀨三番戶
山梨縣西八代郡上九一色村精進七百九十三番地
秋田縣南秋田郡戶賀村戶賀四十三番地
北海道常呂郡野付牛村五百五十四番地
神奈川縣三浦郡三崎町小網代千四百九番地
高知縣高岡郡上半山村赤木百十三番屋敷
北海道函館區東川町八十八番地
長崎縣北松浦郡平戶村大字平戶大久保免二千四百二十五番地
神奈川縣足柄下郡小田原町幸一丁目八百五十六番地
長野縣上水內郡小田切村百六十七番地
熊本縣飽託郡西里村大字貢二千十六番地
山形縣西置賜郡白鷹村大字萩野二千五百三十四番地
故陸軍步兵二等卒竹田清兵衛明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ

故陸軍步兵二等卒伊藤幸吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百貳拾圓ヲ賜フ　伊藤トク
大分縣玖珠郡野上村大字後野上百四十七番地　須藤彦市
山口縣大津郡深川村大字西深川三百四番地ノ二　谷村ロク
鹿兒島縣薩摩郡高城村西方三千二百八十五番地　谷口計佐
栃木縣足利郡筑波村大字羽刈百六十八番地　福島ヤヘ
香川縣仲多度郡善通寺町大字善通寺六百八十六番地　入江コト
岡山縣苫田郡田邑村大字上田邑二千六百四十六番地　井口熊吉
愛知縣中島郡一宮町大字一宮字西屋敷十九番地　春日井たか
茨城縣新治郡石岡町大字石岡二百八十九番屋敷　內田たの
廣島縣雙三郡三次町千百九十七番屋敷　頴田ヒテ
栃木縣安蘇郡植野村大字船津川百十八番地　內田リサ
山口縣玖珂郡日積村百九番屋敷　廣政ヒテ

故陸軍砲兵二等卒廣政重太郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ（以上十二月二日陸軍省）
免本職陸軍騎兵實施學校附被仰付
補工兵第二大隊附
陸軍騎兵實施學校教官兼勤被仰付

（各通）
故陸軍砲兵第二聯隊附陸軍砲兵中尉　佐伯岩二
故陸軍步兵上等兵內田宗次郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百參拾圓ヲ賜フ　內田たの
故陸軍步兵一等卒額田松太明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百貳拾圓ヲ賜フ　額田ヒテ
故陸軍步兵一等卒內田岩次郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百貳拾圓ヲ賜フ　內田リサ
故陸軍步兵二等卒廣政重太郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ　廣政ヒテ
（騎兵監部附陸軍騎兵少佐）
（參謀本部出仕陸軍輜重兵大尉）
陸軍工兵少佐　小出東次郎
陸軍騎兵第二聯隊附陸軍砲兵中尉　川頼亨
陸軍砲兵第二聯隊附陸軍砲兵中尉　菅野正壽
野戰砲兵第二聯隊附陸軍砲兵中尉　安達十六
野戰砲兵第二聯隊附陸軍砲兵中尉　園田保之

第70148号

免本職野戰砲兵第二聯隊附被仰付　工兵第二大隊附　山口　幹雄
免本職工兵第二大隊附被仰付　工兵第二大隊附　陸軍工兵中尉　清野　才二
免本職衛工兵第二大隊副官　工兵第二大隊附　陸軍工兵中尉　矢崎　博之
免本職工兵第二大隊附被仰付　陸軍砲兵少尉　能本　豐起
陸軍砲兵少尉　渡邊　謙
陸軍砲兵少尉　妹尾　義彦
陸軍砲兵少尉　南　武

（各通）

補野戰砲兵第二聯隊附

（各通）

衛工兵第二大隊附　陸軍工兵少尉　大島　梅吉
陸軍經理學校附被免　陸軍工兵少尉　宮島　貞次
補第六師團經理部長
免本職第一師團經理部附被仰付　陸軍二等主計正　日匹　信亮
陸軍衛生材料廠廠員兼勤被免　陸軍二等主計正　日四　信亮
近衛師團司令部附被免　陸軍六師團經理部主計正　原　知信
輜重兵第十一大隊附被免　陸軍三等獸醫　吉良宰太郎
陸軍衛生材料廠廠員兼勤被免　近衛師團司令部附陸軍三等獸醫　植村　要
陸軍衛生材料廠御用掛兼勤ヲ命ス　近衛師團司令部附陸軍二等獸醫　植村　要
陸軍士官學校教官兼勤被仰付　第六師團經理部主計正　渡邊勘之助
免本職補軍馬補充部三本木支部附　近衛師團司令部附陸軍一等獸醫　伊藤駒次郎
免本職補騎兵第一聯隊附　輜重兵第十大隊附陸軍一等獸醫　伊藤駒次郎
免本職補騎兵第十六聯隊附　第七師團獸醫部員陸軍一等獸醫　柴部　猿藏
免本職補野戰砲兵第十五聯隊附　第七師團獸醫部員陸軍一等獸醫　香山　榮一
輜重兵第四大隊附被免　陸軍一等獸醫　宮本　曉誕
補輜重兵第十大隊附　陸軍一等獸醫　今野勝三郎
免本職　陸軍一等獸醫　今野勝三郎
免本職補野戰砲兵第六聯隊附　野戰砲兵第六聯隊附陸軍一等獸醫　三浦　紳
免本職補第六師團獸醫部部員　陸軍一等獸醫　渡邊　正照
免本職補輜重兵第四大隊附　第六師團獸醫部部員　詠村與四郎
免本職補第五師團獸醫部部員　第五師團獸醫部部員　石橋　久吉
廣島灣要塞砲兵聯隊附被免　第五師團獸醫部部員　堀田　勇次
補野戰砲兵第九聯隊附　第五師團獸醫部部員　渡部五三九
免本職補第十四師團獸醫部部員　野戰砲兵第二十聯隊附陸軍一等獸醫　渡部五三九
上野庄五郎

免本職補輜重兵第十六大隊附　騎兵第一聯隊附　日高　久喬
免本職補騎兵第二十聯隊附　騎兵第二聯隊附　氏家　要吉
免本職補野戰砲兵第二十聯隊附　騎兵第十聯隊附　法月和三郎
免本職補陸軍士官學校附兼同校教官　陸軍砲工學校教官陸軍士官學校附　林　里次
免本職兼補關東陸軍倉庫附被仰付　關東都督府陸軍獸醫部部員　牧野　銓太
免本職補近衛師團獸醫部部員　近衛師團獸醫部部員　小林　敬一
免本職陸軍騎兵實施學校附被仰付　騎兵第一聯隊附　武田　勇吉
免本職補陸軍要塞砲兵射擊學校附　要塞砲兵射擊學校附　岩谷　虎雄
免本職補第七師團獸醫部部員　第七師團獸醫部部員　鳴海　茂八
第八師團獸醫部部員被免輜重兵第八大隊附被仰付　輜重兵第八大隊附　及川　忠治
免本職補第八師團獸醫部部員　第八師團獸醫部部員　泉川彌一郎
關東軍馬補充所附被免　關東都督府陸軍獸醫部部員　渡邊滿太郎
補關東都督府陸軍獸醫部部員　關東都督府陸軍獸醫部部員　渡邊滿太郎
免本職補陸軍砲工學校附　騎兵第十五聯隊附陸軍二等獸醫　上田　武熊
東京灣要塞砲兵聯隊附被免　陸軍二等獸醫　貝瀨高之助
輜重兵第二大隊附被免　陸軍二等獸醫　田仲　熊造
野戰砲兵第十三聯隊附被免　陸軍二等獸醫　佐藤八十八
騎兵第八聯隊附被免　陸軍二等獸醫　松本　孝
免本職補軍馬補充部高原支部附　第十四師團獸醫部員陸軍三等獸醫　內田　直
陸軍三等獸醫　神瀨　巖

第五師團獸醫部部員被免廣島灣要塞砲兵聯隊附被仰付　陸軍三等獸醫　山下　樞三
關東都督府陸軍獸醫部附被免關東軍馬補充所附被仰付　陸軍三等獸醫　加來　三雄
野戰砲兵第十二聯隊附被免　陸軍三等獸醫　前田　憲民
輜重兵第十二大隊附被免　陸軍三等獸醫　大原　武慶
休職被仰付　近衛歩兵第二聯隊附陸軍歩兵少佐　近藤東三郎
後備被仰付（以上十二月二日）　陸軍歩兵少佐　石橋　甫
免本職補海軍兵學校教頭兼監事長　吾妻艦長海軍大佐　上泉　德彌
免本職補吾妻艦長　浪速艦長海軍大佐　依仁親王
免本職補春日艦長　秋津洲艦長海軍大佐大勳位功五級　久保田彥七
免本職補海軍軍令部出仕　春日艦長海軍大佐　吉見　乾海
補浪速艦長　海軍兵學校監事長海軍大佐　森　亘
免本職補秋津洲艦長　第一驅逐隊司令海軍大佐　關野　謙吉
免本職補大和艦長　大和艦長海軍大佐　笠間　直
免本職補侍從武官　第十驅逐隊司令海軍中佐
免本職補第一驅逐隊司令

免本職兼職補出雲副長　佐世保鎮守府參謀兼望樓監督官海軍中佐　千坂智次郎
免本職補佐世保鎮守府參謀兼望樓監督官海軍中佐　堀　輝房
兼補第十驅逐隊司令　第十一驅逐隊司令海軍中佐　中村虎之助
補第十八艦隊艇長　海軍大尉　柳原　繼雄
大和乘組被免　海軍中軍醫　浦上　達夫
特命被仰付但吳ニ勤務ス　海軍中軍醫　浦上　達夫
免本職大和乘組被仰付　佐世保豫備艦部附海軍兵曹長　中山勝太郎
兼佐世保海軍港務部附被仰付（以上十二月二日）　横須賀水雷團附海軍少軍醫　石黑　順二
補東京控訴院檢事　福島地方裁判所檢事正（海軍省）
一級俸下賜　東京控訴院檢事正檢事　青木　幹造
千葉監獄詰ヲ命ス　典獄　清水精四郎
靜岡監獄詰ヲ命ス　典獄　印南於菟吉
六級俸下賜（以上十二月二日）　典獄　印南於菟吉
補東京區裁判所判事（司法省）　東京地方裁判所判事判事　柴田　言一
豫審掛ヲ命ス　東京地方裁判所判事判事　柴田　言一
七級俸下賜　東京區裁判所判事判事　柴田　言一
（各通）　東京區裁判所判事判事　佐藤　重之
東京地方裁判所判事判事　山脇　貞夫
八級俸下賜　東京控訴院檢事檢事　青木　幹造
退職ヲ命ス　兼松謙太郎
小林金市郎　吉賀德太郎
松本　增夫　津田　千晴
堀　耕作　禪野　佐助
大原　久吉　森原　嘉遜
井澤美喜三郎　尾家　仁六
小谷　常英　戶田常次郎
櫨田　貢　伊藤八十一
樋口　良助
舟崎　仁一
西田榮次郎
水野　義恕
森井　一貫

（各通）

司法官試補ヲ命ス　司法官試補　兼松謙太郎
大阪地方裁判所及同檢事局並大阪區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習スヘシ　司法官試補　小林金市郎
横濱地方裁判所及同檢事局並横濱區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習スヘシ

法学 70148 法文

千葉地方裁判所及同檢事局並千葉區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ス　司法官試補　松本　增夫
ヘシ
神戸地方裁判所及同檢事局並神戸區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ス　司法官試補　堀　耕作
ヘシ
東京地方裁判所及同檢事局並東京區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ス　司法官試補　大原　久吉
ヘシ
長崎地方裁判所及同檢事局並長崎區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ス　司法官試補　井澤美喜三郎
ヘシ
宮津區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習スヘシ　司法官試補　小谷　常英
宇都宮地方裁判所及同檢事局並宇都宮區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習スヘシ　司法官試補　櫂田　貢
東京地方裁判所及同檢事局並東京區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　樋口　良助
水戸地方裁判所及同檢事局並水戸區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　舟崎　仁一
京都地方裁判所及同檢事局並京都區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　西田榮次郎
松山地方裁判所及同檢事局並松山區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　水野　義恕
甲府地方裁判所及同檢事局並甲府區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　森井　一貫
熊本地方裁判所及同檢事局並熊本區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　吉賀德太郎
高松地方裁判所及同檢事局並高松區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　津田　千晴
金澤地方裁判所及同檢事局並金澤區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　禪野　佐助
東京地方裁判所及同檢事局並東京區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　森原　嘉逸
佐賀地方裁判所及同檢事局並佐賀區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　尾家　仁六
富山地方裁判所及同檢事局並富山區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　戸田常次郎
盛岡地方裁判所及同檢事局並盛岡區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　伊藤八十一
松江地方裁判所及同檢事局並松江區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　德本　寛三
東京地方裁判所及同檢事局並東京區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　田島　熊太
秋田地方裁判所及同檢事局並秋田區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　櫻庭啓次郎
高知地方裁判所及同檢事局並高知區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　人見　光次
大分地方裁判所及同檢事局並大分區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　可兒　壽
山形地方裁判所及同檢事局並山形區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　坪井榮次郎
浦和地方裁判所及同檢事局並浦和區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　伊藤　傳藏
東京地方裁判所及同檢事局並東京區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　下元　馬吉
鹿兒島地方裁判所及同檢事局並鹿兒島區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　國司　雄
宮崎地方裁判所及同檢事局並宮崎區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　後藤　一德
松江地方裁判所及同檢事局並松江區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　金森元之助

東京地方裁判所及同檢事局並東京區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　井上孫太郎
神戸地方裁判所及同檢事局並神戸區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　兵頭理藤太
大阪地方裁判所及同檢事局並大阪區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　淺沼　猪助
青森地方裁判所及同檢事局並青森區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　原　定男
東京地方裁判所及同檢事局並東京區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　星野　春吉
大阪地方裁判所及同檢事局並大阪區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　永田　良雄
札幌地方裁判所及同檢事局並札幌區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　門脇　三太
大阪地方裁判所及同檢事局並大阪區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　倉重清太郎
和歌山地方裁判所及同檢事局並和歌山區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習スヘシ　司法官試補　柳父茂久郎
（各通）　司法官試補　代田芳太郎
東京地方裁判所及同檢事局並東京區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　山脇　常助
山形地方裁判所及同檢事局並山形區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　菊地　廣吉
鹿兒島地方裁判所及同檢事局並鹿兒島區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習スヘシ　司法官試補　河野清次郎
東京地方裁判所及同檢事局並東京區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　鈴木榮次郎
岡山地方裁判所及同檢事局並岡山區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　打下　清一
東京地方裁判所及同檢事局並東京區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　高橋　丑治
札幌地方裁判所及同檢事局並札幌區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　今宮　勝也
東京地方裁判所及同檢事局並東京區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　大西　正幹
仙臺地方裁判所及同檢事局並仙臺區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　佐藤　忠雄
（各通）　司法官試補　小穴　喜一
名古屋地方裁判所及同檢事局並名古屋區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習スヘシ　司法官試補　青山　春齋
東京地方裁判所及同檢事局並東京區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　大島　一
仙臺地方裁判所及同檢事局並仙臺區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習ヘシ　司法官試補　橋本　確
（各通）
司法官試補　兼松謙太郎
司法官試補　小林金市郎
司法官試補　松本　增夫
司法官試補　堀　耕作
司法官試補　井澤美喜三郎
司法官試補　小谷　常英
司法官試補　櫂田　貢
司法官試補　舟崎　仁一
司法官試補　水野　義恕
司法官試補　森井　一貫
司法官試補　吉賀德太郎
司法官試補　津田　千晴
司法官試補　禪野　佐助
司法官試補　尾家　仁六
司法官試補　戸田常次郎
司法官試補　伊藤八十一
司法官試補　德本　寛三
司法官試補　櫻庭啓次郎

第7048号

年俸三百圓下賜（以上十二月十四日ニ同）
五級俸下賜　東京高等師範學校教授　人見光次
七級俸下賜　大阪高等工業學校教授子爵　司法官試補　可兒壽
八級俸下賜　盛岡高等農林學校教授　司法官試補　坪井榮次郎
本俸一級俸下賜　京都帝國大學醫科大學助教授　司法官試補　國司雄
十級俸下賜　京都高等工藝學校教授　司法官試補　後藤一德
十一級俸下賜　東京高等師範學校教授　司法官試補　原定男
金澤醫學專門學校教授　司法官試補　門脇三丞
金澤醫學專門學校教授　湯目隆積　司法官試補　菊地廣吉
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス（以上十二月二日ニ文部省）　今宮勝也

（各通）
一級俸下賜　農商務省參事官　岡實
二級俸下賜　農商務書記官　岡本英太郎
一級俸下賜（以上十二月二日ニ農商務省）　襲職所技師　服部漸
（各通）　水產講習所教授　內村達次郎
海事官　猪俣精一郎
海事官　兒玉德太郎

秋田縣下ヘ出張ヲ命ス（十二月二日ニ遞信省）　元田傳
廣入徵收官ヲ命ス（十二月二日關東都督府）　井上匡四郎
年俸八百四十圓下賜（十二月十日新潟縣）　關東都督府參事官　上村勝彌
年俸六百圓下賜（八月十日鹿兒島縣）　阪野鐵次郎　田原淳
新潟縣農業技師　千田孫一
鹿兒島縣農業技師　和田倉吉　村上一哲　田村宇一　湯目隆積

正誤

本月二十一日本欄五三〇頁下段河野鎮吉ハ河野鎮吉、五三一頁上段立川清治ハ谷川清治ノ誤モ報告誤　海軍省副官

○宮廷錄事

○拜謁竝賢所參拜　昨二十四日午前十時三十分佛國ヘ留學トシテ近日出發ノ陸軍步兵大尉男爵島津久家及カルカッタヘ赴任ノ領事官補平田知夫ハ拜謁竝ニ賢所參拜仰付ケラレタリ

○皇族發著　春仁王恭子女王茂子女王季子女王寬子女王各殿下ハ本月二十二日御出發神奈川縣下小田原ヘ御旅行アラセラレタリ

○官廳事項

○官吏發著　諸陵寮勤務六村中彥ハ京都ヘ在勤ノ處一昨二十三日歸京セリ

○官吏死去　女子高等師範學校教諭從七位波多野德ハ本月二十一日死去セリ

○特許局審決　內藤義雄ヨリ今井芳太郎ニ對シ第八九三號實用新案登錄ヲ無效トスルタメ審判請求事件ニ付キ本月二十日特許局ニ於テ左ノ如ク審決セリ

第一〇六三號　審決書

東京市日本橋區檜物町二十六番地　請求人　內藤義雄
同市水所區綠町三丁目九番地　被請求人　今井芳太郎
同市京橋區柳町三十一番地　特許代理業者　高尾儁七
右代理人

右內藤義雄ヨリ今井芳太郎ニ對シ第八九三號實用新案登錄ヲ無效トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ登錄實用新案第八九三號ノ二ツ折蕊ボール箱ノ登錄ハ無效ナリト審決相成度其ノ理由ハ該二ツ折蕊ボール箱ハ從來ヨリ廣ク世間ニアリ來リノ形狀構造ニシテ被請求人ノ新考案ナリト稱スル區域中一點ノ新案ナキコトハ東京市內ニ於テ信用アル木綿商人及紙箱商人ノ證明書竝ニ玆ニ添付シタル在來公用ノ紙箱ニヨリテ明白ナルヨリ以テ本件登錄ハ實用新案法第一條第二項第一號ニヨリテ無效ナリト云フニ在リ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審決相成度其ノ理由ハ請求人ノ差出シタル證明書ハ何レモ請求人ノ取引先ノ證明ニ係リ何ノ時ニテモ作製シ得ヘキモノニシテ立證ノ趣旨ハ勿論其ノ成立ヲモ認ムル能ハス又差出シタル證據品タル紙箱ハ從來ヨリ存在シタルコトナシ新シキ箱ヲ作リテ之ニ古色ヲ帶ヒシムルカ如キハ最モ容易ノ事ニシテ多クノ證據品中斯ノ如キ不確實ナルモノナク請求人ノ申立ハ毫モ據ル所ナシト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

請求人ハ本件實用新案ハ其ノ出願前公用セラレタリトノ理由ヲ以テ其ノ登錄ノ無效ヲ主張スレトモ其ノ證據トシテ提出シタル本件實用新案ボール箱ト同一ノ紙箱ハ數年前ヨリ使用スル所ナリトノ水綿商人及紙箱商人ノ證明書竝ニ本件實用新案出願前ヨリ行ハレタリト云ヒ數ノ紙箱ニ付キテハ被請求人ノ云フカ如ク證明書ハ單ニ一私人ノ證明ニ過キスシテ採リテ以テ證據トナスニ足ラス又紙箱ハ本件實用新案紙箱ト其ノ構造ノ同一ナルハ明ナレトモ該紙箱カ本件實用新案登錄出願前ヨリ行ハレタルコトヲ確ムヘキモノ一モアルナシ以上ノ理由ヨリ以テ請求人ノ申立ハ確タル根據ナキモノト云ハサルヘカラス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

明治三十九年十二月二十日於特許局

司法及警察

○放免　長野縣東筑摩郡中山村平民山口とるゑハ故殺ノ罪ニ因リ明治三十六年八月十七日長野地方裁判所ニ於テ輕懲役六年、千葉縣印旛郡和田村大字高岡平民岩井ゑかハ同罪ニ因リ同年八月五日千葉地方裁判所ニ於テ重懲役九年ニ處セラレ本犯ヨリ控訴ヲ申立テ同年十月十五日東京控訴院ニ於テ棄却セラレ山形縣南置賜郡三澤村大字小野川平民鈴木ゑもハ同罪ニ因リ同年六月二十六日形地方裁判所ニ於テ同九年、德島縣勝浦郡福原村大字旭村字堂平平民山田「コセン」ハ同罪ニ因リ同年五月十八日德島地方裁判所ニ於テ輕懲役六年ニ處セラレ本犯ヨリ控訴ヲ申立テ同年十月八日大阪控訴院ニ於テ棄却セラレ各服役中ノ處ともゑハ本月十日、ゑかハ同十七日、ゑもハ同十八日「コセン」ハ同十九日孰モ特典ヲ以テ放免シ併テ監視ヲ免セラレタリ

○出火　東京府外二縣ニ於ケル出火左ノ如シ

東京府　本月十五日午前三時三十分西多摩郡福生村ヨリ出火全燒一戶同四時三十分鎭火、同十六日午前零時南足立郡三ノ輪千住並新町ヨリ出火全燒三十九戶同一時四十分鎭火原因過失、同二十四日同五時三十分北豐島郡淀橋川村西ケ原ヨリ出火全燒二棟同六時二十分鎭火セリ

靜岡縣　本月十六日午後八時十分濱名郡濱松町大字紺屋ヨリ出火全燒十一戶、半燒三戶、電柱二燒失同時五十分鎭火原因詳ナラス

岐阜縣　本月二十日午前四時惠那郡本郷村大字飯羽間ヨリ出火家屋二棟燒失、燒死者一同七時鎭火原因過失ナリ

長野縣　本月二十一日午前一時三十分西筑摩郡廚ケ根村字上松ヨリ出火全燒二十戶同三時鎭火原因詳ナラス

○陸海軍

○水路告示第千八百六十五號

一艦船ニ於テ此告示ヲ領受シタルトキハ遠ニ其關係ノ圖誌ヲ改正增補センコトヲ要ス

第五四七一項

海軍海圖第三一三號朝鮮水路誌追補第一ノ一四〇頁ニ關係ス

朝鮮南岸　釜山港

外浮標ノ復舊

明治三十九年十二月木下韓國釜山港務長ノ報告ニ據レハ襲ニ水路告示第一八五一號ニ流徙ノ旨ヲ揭ケタル釜山港口ノ外浮標ハ今回舊位置ニ再置セリト云フ

第五四七二項

海軍海圖第一三七號乙第一五三號第五〇號ニ關係ス

內海　備讚瀨戶

佐柳島南西方ノ沈船

明治三十九年十二月大塚出雲航海長ノ報告ニ據レハ備讚瀨戶西部常航路ノ北方附近ニ於テ佐柳島ノ南西方ニ一沈船（帆船）アリ其一檣斜ニ水面上ニ約十五呎現出ス卽チ其位置左ノ如シ　與宮出雲艦長通報

佐柳島高戶山（八〇三呎）ハ北二五度東
小島（五〇〇呎）ハ北六三度東
高見島（八八三呎）ハ南七六度東

概位　海軍海圖第一三七號乙ニ據ル　北緯三四度一九分二五秒　東經一三二度三六分四一秒

偏差三十九年四度四一分西

第五四七三項

海軍海圖第一五二號日本水路誌第三卷五二二頁五二三頁ニ關係ス

豐後水道東側　舌間港及奧地灣

暗岩ノ發見

明治三十九年十一月大後水路中監ノ補測ニ據レハ豐後水道東側ニ左ノ二暗岩アリ

（一）ハ舌間港內ニアリテ岩上水深一ヶ尋其位置左ノ如シ

該岩ヨリ舌間西方埠頭端ハ　北六九度四〇分東　距離二ヶ鏈
合田埠頭端ハ　南四〇度三〇分東

（二）ハ奧地灣內ニアリテ福瀨ト稱シ岩上水深四尋半其位置左ノ如シ

該岩ヨリ櫨現埼ハ　南三六度西　距離七ヶ鏈
カレイ埼ハ　北七一度一五分西

偏差三十九年四度二三分西（一）四度二一分西（二）

第五四七四項

海軍海圖第一七九號第三〇一號第二號（一）（二）（三）第三一三號第三一二號第一九六號第三〇四號第三一〇號第一八〇號（一）第三一二號（二）（三）第三一四號（三）朝鮮水路誌二七三頁二七六頁同追補第一ノ一三七頁東洋燈臺表上卷八四頁三番ノ次八八頁一七番ノ次（各記入）ニ關係ス

朝鮮南岸及東岸　釜山港口、永興灣口及長箭洞錨地附近

燈臺ノ設置

韓國總稅務司告示第二號第三號及第四號三十九年十二月十五日附ニ據レハ今般釜山港口ノ絕影島外二箇處ニ燈臺ヲ建設シ孰レモ明治三十九年十二月二十日ヨリ每夜點火ス卽チ左ノ如シ

（一）絕影島燈臺

一釜山港口絕影島ノ南東端ニ設置ス

一燈塔ハ「コンクリート」造四角形ニシテ白塗シ基礎ヨリ燈火マテノ高二十六呎

一燈火ハ第四等連閃白光ニシテ每十三秒ヲ隔テ、七秒間ニ三閃光ヲ發ス

一燈火ノ高潮面上高一七一呎ニシテ晴天光達二十浬

一明弧ハ南三〇度西ヨリ西、北ヲ經テ北五〇度三〇分東ニ至ル二〇〇度三〇分間トス

一壓榨空氣式霧笛ヲ設置シ霧雪其他溟濛ナル天候ニハ每四十秒ヲ隔テ、三秒間吹鳴ス

燈臺概位　海軍海圖第一三號ニ據ル　北緯三五度三分一〇秒　東經一二九度五分三〇秒

（二）水源端燈臺

一長箭洞錨地附近水源端ニ設置ス

特許 70048 号 本文

一燈塔ハ「コンクリート」造八角形ニシテ白堊シ基礎ヨリ燈火マテノ高五十呎
一燈火ノ第六等遠閃白光ニシテ毎十二秒ヲ隔テ、三秒間ニ二閃光ヲ發ス
一燈火ノ高潮面上高一三三呎ニシテ晴天光達十七浬
一明瞭ノ南三六度一三分東ヨリ南、西ヲ經テ北一一度西ニ至ル二〇五度一三分間トス

（三）鹿島灘

一永興灣口鹿島ノ南東端ニ設置ス
一燈塔ハ「コンクリート」造八角形ニシテ白堊シ基礎ヨリ燈火マテノ高二十呎
一燈火ハ第四等遠閃白光ニシテ毎十秒ヲ隔テ、五秒間ニ三閃光ヲ發ス
一燈火ノ高潮面上高二二一呎ニシテ晴天光達二十一浬
一明瞭ノ南三度四〇分西ヨリ西、北、東ヲ經テ南八六度三〇分東ニ至ル二六九度五〇分間トス
偏差三十九年四度五四分西（一）六度二三分西（二）（三）

注意

水源端及鹿島兩燈臺ノ位置ニ就テハ詳報ヲ俟テ更ニ告示スヘシ

第五四七五號

海軍海圖第一三八號第一五一號第一五七號日本水路誌第三卷五二五頁ニ關係ス

豐後水道東側　宇和島灣

錐ケ瀬淺部ノ發見

明治三十九年十二月當部員大井海軍大尉ノ實測報告ニ據レハ宇和島灣內錐ケ瀬ノ淺部ハ三尋ニシテ國陸界直ニ十一尋乃至二十一尋ナリト云フ

（豐島一五八呎ハ黃淺部ヨリ一九島九八〇呎ハ南六五度五五分西　距離約一浬　南二八度東）

偏差三十九年四度一八分西

右告示ス

明治三十九年十二月二十五日　水路部長　坂本一

注意

一當部刊行ノ圖誌類ハ左記ノ各地ニ於テ之ヲ販賣ス
日本郵船株式會社東京本店○大阪、神戸、長崎、函館、門司ノ五支店
一島告示ノ印刷物ハ若干部ヲ當部ノ圖誌販賣所ニ備置キ無代價ニテ各航海者適時ノ要望ニ應ジスヘシ
一此告示ノ印刷物ハ左記ノ諸沿海各理事廳及帝國領事館ニモ送付シアルヲ以テ各航海者ハ國時該處ニ就テ實檢スルヲ得ヘシ
（諸沿海　馬山　仁川　木浦　群山　鎮山　元山　敦賀　新潟　馬尾廳　厦門　上海　漢口　杭州　福州　芝罘　天津　牛莊　營口　淡水　澳門　海口　ホノルル　ウラジオストク　ニューシャンハイ）
一海上危險ヲ發見シ又ハ航海上現行圖誌ノ改補ニ必要ナル實驗ヲ爲シタルトキハ速ニ其當事者ヨリ直接水路部ニ報告アランコトヲ希望ス依テ便宜ノ爲ノ水路報告用紙ト印刷物若干部ヲ第一號ニ記セル各諸沿海寄港所ニ備置キ無代價ニテ各航海者ノ要望ニ應ジ供給スシモ此用紙ヲ用ユルニ及ハス

○學生入退校　陸軍大學校學生左記三十四人卒業ニ付キ退校セリ

陸軍歩兵大尉　黛志彌太郎
陸軍歩兵大尉　渡邊保治
陸軍歩兵大尉　小知和豐之助
陸軍歩兵大尉　藤屋常造
陸軍歩兵大尉　石井正一
陸軍輜重兵大尉　川園信
陸軍工兵大尉　堀田佐藤
陸軍騎兵大尉　佐藤基義
陸軍騎兵大尉　織田豐周
陸軍歩兵大尉　吉田鐵則
陸軍歩兵大尉　天野邦太郎
陸軍歩兵大尉　前川一郎
陸軍歩兵大尉　林田源吾
陸軍歩兵大尉　入江瀬吾
陸軍歩兵大尉　松井兵三郎
陸軍歩兵大尉　鈴木新之丞
陸軍歩兵大尉　武島嘉三郎
陸軍歩兵大尉　吳村栢治
陸軍歩兵大尉　櫻口鐵太郎
陸軍歩兵大尉　長尾植吉
陸軍歩兵大尉　吉村圧一
陸軍歩兵大尉　金遠波邊
陸軍歩兵大尉　菊池武夫
陸軍歩兵大尉　黑川義太郎
陸軍騎兵大尉　遠山虎雄
陸軍歩兵大尉　松山武平次
陸軍歩兵大尉　山本宣一
陸軍歩兵大尉　上島文次
陸軍歩兵大尉　木下大橋
陸軍歩兵大尉　樽吉石根
陸軍歩兵大尉　松井源二
陸軍歩兵大尉　上島鹿齋
陸軍歩兵大尉　樋渡喜輔
陸軍歩兵大尉　武川

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
富士	十二月十三日	鎮海灣	吳	佐世保
常磐	同	吳	鎮海灣	佐世保
豐橋	同	佐世保	吳	鎮海灣
若葉	同	大湊	鎮海灣	大湊
初風	同	鎮海灣	吳	佐世保
如月	同	吳	鎮海灣	佐世保
夕霧	同	佐世保	吳	鎮海灣
白露	同	吳	佐世保	佐世保
夕立	同	佐世保	吳	鎮海灣
須磨	同	宮津	鎮海灣	宮津

○陸軍砲兵工科學校火工學生トシテ本月二十一日上等兵一等卒各一八人被セリ（陸軍省）

陸軍砲兵一等卒　千葉縣平民
陸軍砲兵一等卒　群馬縣平民
陸軍砲兵一等卒　茨城縣平民

○學生歸朝

文部省外國留學生東京高等工業學校助教授醫丸隆二郎氏十月十五日歸朝セリ（文部省）

○留學生歸朝

陸軍砲兵一等卒　日部市太郎
陸軍砲兵一等卒　今井習男
陸軍砲兵一等卒　角井松太郎
陸軍砲兵一等卒　田中定八

○財政

造幣局年報摘要

明治三十八年四月一日ノ要領

造幣局第三十二年報自明治三十八年四月一日至同三十九年三月三十一日、（大藏省）

輸納地金

本年度間本邦貨幣製造ノタメ本局ヘ輸納及購入シタル地金ノ總計ハ金地金三千六百四十六貫八百二十九匁四分七厘、銀地金六万九千七百六十八貫九百八十二匁八分七厘及白銅地金一万千三百八十六貫三百六十一匁二分六厘ニシテ之ヲ前年度ニ比較シテ金地金ニ於テ一万千二百十八貫六百十四匁二分五厘減少シタルハ一般人民ノ輸納多カリシニ拘ラス帝國借金貨幣外國金貨幣及英米朝鮮產金塊ノ輸納累カリシニ因リ銀地金ニ於テ三万三千六百四十三貫九百八十二匁八分五厘ヲ增加シタルハ補助銀貨材料地金ノ購入巨額ナリシニ因ル而シテ白銅地金ハ前年度ニ於テ該貨幣ノ製造ナカリシモ本年度ニ於テ之ヲ製造シタルカタメ購入地金今額ノ增加ト爲リ青銅地金ハ該貨幣ノ製造ナカリシヲ以テ之カ購入絕無ナリシ其詳細ヲ示スコト左ノ如シ

明治三十七年度同三十八年度金銀及白銅地金輸納高比較表

明治三十八年度輸納高

種類	府縣	內國人民	外國人民	合計
金地金	內國人民	一七九、九四八・四一	一、一八九、一九四・〇七	一、三六八、一四〇・四八
	外國人民	一、一九一、〇七三・八七	一六、八〇〇、四六四・七八	一七、九七四、五三七・六五
	總計	一、三七一、二八六・四〇	一七、九八九、六五八・八五	一九、三五九、八二八・二五
銀地金	內國人民	一〇、五四三・〇〇	一、一八九、一九四・〇七	一、二〇四、七三七・〇七
	外國人民	三七二、三八六・四〇	一六、八一六、一〇二・八	一七、一二三、九八八・八
	總計	三八二、九二九・四〇	一七、〇〇五、八六六・八五	一七、二二八、七二六・八五
白銅地金	內國人民	一、三八六、三六一・二六		一、三八六、三六一・二六

明治三十七年度輸納高

種類	府縣	內國人民	外國人民	合計
金地金	內國人民	一、一九一、二二三・八九	一七九、九四八・四一	一、三七一、一七二・三〇
	外國人民	一、一九一、〇七三・八七	一、一八九、一九四・〇七	二、三八〇、二六七・九四
	總計	一、一九一、〇七三・八七	一、三六八、一四〇・四八	二、五七二、四三八・二五
銀地金	內國人民	一〇、五四三・〇〇	三六二・〇八	一〇、九〇五・〇八
	外國人民	三七二、三八六・四〇	一七、〇〇五、八六六・八五	一七、三七八、二五二・二五
	總計	三八二、九二九・四〇	一七、〇一五、八七二・九三	一七、三八八、一六〇・三三
白銅地金	內國人民	一、三八六、三六一・二六		一、三八六、三六一・二六

以上記載セル輸納地金ノ本邊入ヲ爲スニ先チ本年度間ニ於テ內外人民ヨリ假預リヲ爲シタル地金ノ高左ノ如シ

輸納人

種類	府縣	內國人民	外國人民	合計
造幣適當地金	內國人民	一、一九一、二二三・八九	一七九、九四八・四一	一、三七一、一七二・三〇
輸製スヘキ地金	外國人民	一、一九一、〇七三・八七	一、一八九、一九四・〇七	二、三八〇、二六七・九四
流通不便貨幣	總計	二、三八二、二九六・七四	一、三六八、一四〇・四八	三、七五〇、四三八・二五
金貨	內國人民	一、一九一、二二三・八九	一七九、九四八・四一	一、三七一、一七二・三〇
銀貨	外國人民	一、一九一、〇七三・八七	一、一八九、一九四・〇七	二、三八〇、二六七・九四
流通不便貨幣	總計	二、三八二、二九六・七四	一、三六八、一四〇・四八	三、七五〇、四三八・二五
金貨	內國人民	一、一九一、二二三・八九	一七九、九四八・四一	一、三七一、一七二・三〇
銀貨	外國人民	一、一九一、〇七三・八七	一、一八九、一九四・〇七	二、三八〇、二六七・九四
流通不便貨幣	總計	二、三八二、二九六・七四	一、三六八、一四〇・四八	三、七五〇、四三八・二五
金地金	內國人民	一、一九一、二二三・八九	一七九、九四八・四一	一、三七一、一七二・三〇
銀地金	外國人民	一、一九一、〇七三・八七	一、一八九、一九四・〇七	二、三八〇、二六七・九四
白銅地金	總計	二、三八二、二九六・七四	一、三六八、一四〇・四八	三、七五〇、四三八・二五

銀ノ部（千分中銀九百分及百分ノ量）

種類	府縣	內國人民	外國人民	合計	增減比較
造幣適當地金	內國人民	一、一九一、二二三・八九	一七九、九四八・四一	一、三七一、一七二・三〇	一、二〇四、七三七・〇七
輸製スヘキ地金	外國人民	一、一九一、〇七三・八七	一、一八九、一九四・〇七	二、三八〇、二六七・九四	一、一八九、一九四・〇七
流通不便貨幣	總計	二、三八二、二九六・七四	一、三六八、一四〇・四八	三、七五〇、四三八・二五	二、三九四、三七一・一六
金貨	內國人民	一、一九一、二二三・八九	一七九、九四八・四一	一、三七一、一七二・三〇	一、二〇四、七三七・〇七
銀貨	外國人民	一、一九一、〇七三・八七	一、一八九、一九四・〇七	二、三八〇、二六七・九四	一、一八九、一九四・〇七
流通不便貨幣	總計	二、三八二、二九六・七四	一、三六八、一四〇・四八	三、七五〇、四三八・二五	二、三九四、三七一・一六
金地金	內國人民	一、一九一、二二三・八九	一七九、九四八・四一	一、三七一、一七二・三〇	一、二〇四、七三七・〇七
銀地金	外國人民	一、一九一、〇七三・八七	一、一八九、一九四・〇七	二、三八〇、二六七・九四	一、一八九、一九四・〇七
白銅地金	總計	二、三八二、二九六・七四	一、三六八、一四〇・四八	三、七五〇、四三八・二五	二、三九四、三七一・一六

白銅ノ部（千分中銅九百分ノ量）

種類	府縣	內國人民	外國人民	合計	增減比較
造幣適當地金	內國人民	一、一九一、二二三・八九	一七九、九四八・四一	一、三七一、一七二・三〇	一、二〇四、七三七・〇七
輸製スヘキ地金	外國人民	一、一九一、〇七三・八七	一、一八九、一九四・〇七	二、三八〇、二六七・九四	一、一八九、一九四・〇七
流通不便貨幣	總計	二、三八二、二九六・七四	一、三六八、一四〇・四八	三、七五〇、四三八・二五	二、三九四、三七一・一六
金貨	內國人民	一、一九一、二二三・八九	一七九、九四八・四一	一、三七一、一七二・三〇	一、二〇四、七三七・〇七
銀貨	外國人民	一、一九一、〇七三・八七	一、一八九、一九四・〇七	二、三八〇、二六七・九四	一、一八九、一九四・〇七
流通不便貨幣	總計	二、三八二、二九六・七四	一、三六八、一四〇・四八	三、七五〇、四三八・二五	二、三九四、三七一・一六
金地金	內國人民	一、一九一、二二三・八九	一七九、九四八・四一	一、三七一、一七二・三〇	一、二〇四、七三七・〇七
銀地金	外國人民	一、一九一、〇七三・八七	一、一八九、一九四・〇七	二、三八〇、二六七・九四	一、一八九、一九四・〇七
白銅地金	總計	二、三八二、二九六・七四	一、三六八、一四〇・四八	三、七五〇、四三八・二五	二、三九四、三七一・一六

種類　文久銀　二匁銀　流通不便貨幣　總計

八百位通貨　一、八一四、〇四〇・〇〇　一、三三一、〇〇〇・〇〇　一、九九一、〇四〇・〇〇
外國銀貨　一、八一四、〇四〇・〇〇　一、三三一、〇〇〇・〇〇　一、九九一、〇四〇・〇〇
補助銀貨　一、八一四、〇四〇・〇〇　一、三三一、〇〇〇・〇〇　一、九九一、〇四〇・〇〇
外國貨幣　一、八一四、〇四〇・〇〇　一、三三一、〇〇〇・〇〇　一、九九一、〇四〇・〇〇
流通不便貨幣　一、八一四、〇四〇・〇〇　一、三三一、〇〇〇・〇〇　一、九九一、〇四〇・〇〇
總計　一、八一四、〇四〇・〇〇　一、三三一、〇〇〇・〇〇　一、九九一、〇四〇・〇〇

青銅ノ部（千分中銅九百五十分ノ量）

種類	銅	錫	總計
各種	二、一四四、九〇五・八九	三五二、〇九九・八九	二、四九四、〇〇五・七八
天保	五二一、〇九六・八九	五五・〇〇〇・〇〇	五七六、〇九六・八九
總計	二、六六〇、〇〇一・七八	四〇七、〇九九・八九	二、九六七、一〇〇・六七

本年度間精製及品位證明ノタメ本局ニ輸納シタル地金ノ總計ハ金地金二千百十六貫七百四十八匁四分、銀地金一万五千五百四十五貫四百八十三匁三分、一匁ニシテ之ヲ前年度ニ比較スレハ金地金ハ七十一貫五百五十四匁二分八厘ヲ減少シ銀地金ハ三千六十八貫七百四十七匁六分三厘ヲ增加セリ其詳細ヲ示スコト左ノ如シ

法令 70148 法文

明治三十七年度輸納高比較表（△印減）

種類	明治三十七年度輸納高 府内國人民	外國人民	合計	明治三十八年度輸納高 府内國人民	外國人民	合計	增減比較
金ノ部（純金）地金	円	円	円	円	円	円	円
精製スヽ可キ地金ノ金分	二、〇〇一、四四〇・六一	二、一六、七四八・四〇	二、〇一七、一八八・〇一	四〇、四八四・五二	二、一八、八〇〇・四〇	二、〇五八、五四〇・二八	△ 一、〇五七、六四八・七九
計	一、三八、三〇七・七九	一、五四、八〇〇	一、三八、八七七・八三	四〇、四八四・五二	二、一四、七、六三・七六	二、〇五八、五四〇・二八	△ 一、〇五七、六四八・七九
銀ノ部（純）地金	一、三八、八七七・八三	一、五四、四四〇・六一	一、四七、三二二・四四	一、五九二、八〇二・七九	一、五四、四四〇・六一	一、〇五七、六四八・七九	△ 一、四七、三二二・四四
精製スヽ可キ地金ノ銀分	一、四七、三二二・四四	一、〇八八、一五一・四二	一、〇八八、一五一・四二	一、〇八八、一五一・四二	一、〇八八、一五一・四二	一、〇八八、一五一・四二	△ 一、〇八八、一五一・四二
計	一、四七、三二二・四四	一、〇八八、一五一・四二	一、〇八八、一五一・四二	一、〇八八、一五一・四二	一、〇八八、一五一・四二	一、〇八八、一五一・四二	△ 一、〇八八、一五一・四二
通計	一、五一、三八三、〇二七・三三	一、六二、一四五、五一九・八	一、六二、一四五、五一九・八	一、五九二、八〇二・七九	一、六二、一四五、五一九・八	一、六二、一四五、五一九・八	△ 一、五九二、八〇二・七九

縣稅及罹災救助基金收支決算額

○縣稅及罹災救助基金收支決算額 島取縣ニ於ケル明治三十八年度縣稅及罹災救助基金收支決算額左ノ如シ（△印減）（島取縣）

科目	決算額	豫算額	比較增減
縣稅歲入			
經常部			
地租割	一、九七〇、〇一〇	一、九七〇、三一〇	△ 三〇〇
營業割	三〇、一四四・〇一四	三〇、一四四・六六八	四、六六八・〇一四
雜種稅	三、一四四・一四〇	三、〇一四・一四〇	一三〇
營業稅附加稅	六、二四四・八〇〇	六、二四四・八〇〇	一三〇
所得稅附加稅	一、〇四一・九四〇	一、〇四一・九四〇	一三〇
戶數割	二、一四〇・四四〇	二、一四〇・四四〇	一三〇
財產收入	一、六一一	一、六一一	一三〇
國庫下渡金	一三、一三〇・〇〇〇	一三、一三〇・〇〇〇	一三〇
雜收入	三、六六六・八八七	三、〇八六・一〇四	一、〇四一・九六六
合計	三三、一六六・八八七	三〇、一四五・九三一	一、〇四一・九六六
臨時部			
繰越金	四四、六四〇・九一六	四一、〇四〇・三六七	三、五四一・四四九
國庫補助金	六、六六六・四三四	一〇、一九一・九一六	一、一四五・一四四
財產賣拂代	一〇、四四六	一〇、四四六	一
寄附金	六、〇〇〇	六、〇〇〇	一
合計	三、一四〇・九四六	三、一四〇・九四六	一
總計	三六、八六六・四三一	三六、八一三・六四四	四五・三三三・〇二七・三三
同 歲出			
經常部			
警察費	六、八六六・六四四	六、八六六・六四四	一
警察廳舍修繕費	一、一四四・〇〇〇	一、一四四・〇〇〇	一
縣費	七六、八〇〇	七六、八〇〇	一
土木費	四四、六六〇・三三〇	四四、六六〇・三三〇	一
縣會議諸費	七、六六〇・〇四四	七、六六〇・〇四四	一
衛生及病院費	三、四四〇・三四四	三、四四〇・三四四	一
教育費	七、七一七・四一九	七、七一七・四一九	一
郡廳舍修繕費	六六六・七一九	六六六・七一九	一
郡役所費	三、九六〇・六四四	三、九六〇・六四四	一
教育費	一、一六六・八六〇	一、一七二・三六六	△ 五、五〇六
勸業費	三、七二二・三六六	三、七二二・三六六	一
諸達書及掲示諸費	一、六六〇・三四〇	一、六六〇・三四〇	一
縣稅收拔費	七〇、四〇〇・四九	一〇、一四〇・一一六	三、〇四〇・一一六
縣廳舍修繕費	三六〇・四四七	三六〇・四四七	一
衆議院議員選擧費	四〇、〇四四	四〇、〇四四	一
縣吏員費	一〇、六六〇・六四四	一一、九六〇・八四〇	一、三〇〇・一七六
縣會議員費	一四、〇六六	一四、〇六六	一
縣會議員選費	一四、〇六六	一四、〇六六	一
行政執行費	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一
罹災救助基金費	四六、九一〇	四六、九一〇	一
收用審査會費	一	一二、六〇一	△ 一二、六〇一
縣統計費	六、七一〇	一二、六〇一	△ 五、八九一
財產費	一	一〇、〇〇〇	△ 一〇、〇〇〇
豫備費	一一、五六〇	一一、五六〇	一
合計	三九、一一六・〇三四	四〇、四四一・五四六	△ 一、三二五・四一二
臨時部			
土木費	七、三四〇・三一四	三、一八六	△ 七、一五四
郡市町村土木補助費	三七、三四〇・八六六	三七、三四〇・八六六	一
衛生補助費	四、三四〇・六四四	四、三四〇・六四四	一
教育費	四、三四〇・六四四	四、三四〇・六四四	一
勸業費補助費	一〇、〇〇〇・〇〇〇	一〇、〇〇〇・〇〇〇	一
罹災救助基金費	一〇、〇〇〇・〇〇〇	一〇、〇〇〇・〇〇〇	一
慈惠救濟金補充費	九、四〇〇・〇四四	一、七六六・八四四	△ 三、一一六・一四〇
勸業費本年度支出額	一、〇〇〇・〇〇〇	一	一
雜	三四〇・七六六	三四〇・七六六	一
總計	三、九六〇・六四四	三、九六〇・六四四	一

縣稅及罹災救助基金收支決算額

科目	決算額	豫算額	比較增減
警察費	一二、八〇〇	一二、八〇〇	一
警察廳舍建築費	一二、八〇〇	一二、八〇〇	一
總計	六七、一四〇・六四一	四五、六四九・八〇一	二一、四九〇・八四〇
收入	四五、六四九・八〇一	四五、六四九・八〇一	一
支出	四五、六四九・八〇一	四五、六四九・八〇一	一

罹災救助基金收支

科目	決算額	豫算額	比較增減
罹災救助基金收支			
收入	六、一三六・一四〇	四、〇四五・四一六	△ 二、〇九一・七二四
支出	四、一三六・一四〇	四、〇四五・四一六	△ 二、〇九一・七二四

○產業

○純金相場 本月十七日ヨリ同二十二日ニ至ル各日純金相場百匁ニ付キ五百圓ナリ（日本銀行ノ報告ニ據ル）

○磅相場 磅相場一磅ニ付キ本月十七、十八兩日九圓八十四錢六厘一毛同十九日ヨリ同二十二日ニ至ル各日九圓八十二錢九毛ナリ（横濱正金銀行ノ報告ニ據ル）

○通運

○通常郵便物數 內地各局所ニ於ケル本年四月中通常郵便物引受數ハ八千九百十三万四千六百三十九箇ニシテ之ヲ前年同月分ニ比スレハ五百六十九万七千二百五十二箇即チ六分ヲ減少セリ其詳細左ノ如シ（△印減）（遞信省）

種別	三十九年四月分	前年同月分	比較增減	同上割合
書狀	二三、五六六、二六三	二四、八八一、二六三	△ 一、三一五、〇〇〇	割 〇・五三
通常	四三、二六三、八六六	四四、八七二、一七五	△ 一、六〇八、三〇九	〇・五八
往復	五四九、二四五	四九、二八一	五、九六四	一・二三
封緘	一、四二八、七三九	一、八七、六八三	△ 一、四四九、九四四	四四、九四四
密書	三、〇〇二、九九六	二、四九二、六九九	△ 一、〇二〇、二九七	二、〇五
計	四五、九五八、八四六	四八、〇四一、八三八	△ 二、〇八二、九九二	〇・四三
新聞雜誌	一、〇〇〇、六〇六	一、三四三、二四四	△ 三四〇、二七六	一・五七
繃帶書類	九、二九九、八六三	九八六、三三〇	八、三一三、五三三	一四、一七六
業務用書類	五三七、八九三	三五、四七二	五〇二、〇四五	三五、〇四五
本見本	二三四、九三六	二三四、九三六	一	九、二八二
農產物種子	一七〇、八六六	一三四、九三六	三五、九三〇	三五、九三〇
料	四、二一〇・七二	四、七八〇・九一四	三五、八四三	〇・七五
計	八九、一二四・六三九	九四、八三一・八九一	五、六九七・二五二	〇・六四
無料	九六五・四二〇	九一六・一八二	四九、二三八	〇・五〇
總計	二三七、三九六	二九八、一〇四	六〇、七〇八	二〇四
內				
貿易書類 有料	二三七、三九六	二九八、一〇四	六〇、七〇八	二〇四
無料				

○雜事

○外國渡來旅客比較 大藏省ノ調査ニ係ル去月中外國渡來旅客國別比較左ノ如シ（大藏省）

國名	三十九年十一月	三十八年十一月	增減
英吉利	一八五	一七七	一八〇
米國	五三二	一八〇	五三二
佛蘭西	一七七	五八	一一九
獨逸	一八〇	五九	一二一
露西亞	一三三	一三	一二〇
清國	七二〇	一四七六	一一一
韓國	一一一	一一一	一
伊太利	一七	一七	一
澳地利	四	一	一
和蘭	一一	一	一
印度	六	一	一
白耳義	一一	一	一
西班牙	一三	一	一
葡萄牙	八	一	一
瑞典	一一	一	一
諸威	二	一	一
瑞西	一	一	一
土耳其	一	一	一
羅馬尼亞	一	一	一
土耳其	一	一	一
墨西哥	一	一	一
秘魯	一	一	一
智利	一	一	一
波斯	一	一	一
匈牙利	一	一	一
印度支那	一	一	一
蘭領東印度	一	一	一
馬來半島	一	一	一
加拿太	一	一	一
計	二、一二九	一、八八一	一
比較增	五四八	一	一

○帝國議會

○貴族院

○明治三十九年十二月二十四日

貴族院令第一條五項ニ依リ貴族院議員ニ任ス

河田與聰左衞門

○地方行政

○縣會 山梨縣ニ於テ明治三十九年度歲入歲出追加豫算同年度罹災救助基金歲入歲出追加豫算同四十年度繼續救助基金歲入歲出追加更正豫算同年度歲入歲出豫算中縣債發及之ニ關スル歲入方法議決權委任ノ件縣債借入及償還方法縣有財產賣却ノ件ニ付キ一昨二十三日臨時縣會ヲ招集セリ（山梨縣）

島根縣ニ於テ從ニ開會ノ通常縣會ハ議事結了本月十九日閉會セリ（島根縣）

官報 第七〇四八號 明治三十九年十二月二十五日（第三種郵便物認可）

○在外公館報告

○上海絹花及綿絲市況 上海ニ於ケル絹花及綿絲市況ニ付キ同地駐在總領事永瀧久吉ヨリ本月二十二日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ 本月十八日（外務省）

絹花ハ強含ミ通州機械絹絲在上等一八兩二〇錢」綿絲ハ米品ト毛河筋ニ相應賣行アリ市況手堅シ鐘淵紡績第十六手平野立馬十六手九二兩〇〇、前週輸入高本邦絲一、二九〇梱印度絲六、二二二梱、在荷本邦絲一〇、一六二梱印度絲一四五、二一三梱

○白河結氷 天津駐在總領事加藤本四郎ヨリ本月二十一日發ヲ以テ「白河昨夜全ク結氷セリ」トノ電報アリ（外務省）

○新嘉坡米況 新嘉坡ニ於ケル米況ニ付キ在同地領事館事務代理外務書記生岸倉松ヨリ本月二十二日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ 本月十二日（外務省）

暹羅各等米一弗九五、一弗八〇、一弗七〇、ラングーン一等米一弗四七、暹羅新米ノ出廻リ增加セシカ未タ輸出ニ適セス暹羅古米ハ品質不良ノタメ價格下落セシモ相應ノ買手アリ ラングーン古米ハ在荷二五、〇〇〇袋買手付カス柴椒米ハ在荷ナシ

○里昂生絲及羽二重市況 里昂ニ於ケル生絲及羽二重市況ニ付キ同地駐在領事山田忠澄ヨリ左ノ如ク電報一昨二十アリ 本月十二日（外務省）

生絲市況活潑相場益々昇騰ヨリ本邦絲一番中九乃至十一「デニール」物十八九法」羽二重商況好氣配ナルモ本邦相場暴騰ノタメ買控ノ姿

○外報

露西亞

○露西亞ノ砂糖輸出 在彼得堡瀛地利匈牙利國大使館報告ニ據レハ露西亞ノ砂糖輸出ハ千九百年以來急速ナル減少ノ傾向ヲ示セリ此減少ハ既ニ千九百一年及千九百二年ニ於テ其徵候ヲ顯シタルカ千九百四年及千九百五年ニ至リテ戰役及騷亂ノ影響トシテ著シク爲リタリ唯千九百三年ニ於テハブリュッセルノ砂糖ニ關スル協商ノ實施ニ先チ初八箇月間ニ西歐羅巴（大英國）ニ向ヒテ格外多額ノ砂糖輸送セラレタルタメ輸出額ノ高數ヲ表セルコトアリ然レハ千九百三年ナル最高額千四百六十三万八千「プード」ヲ除外シ千九百年ヨリ千九百五年ニ至ル間ノ時期ニ於テ砂糖輸出ハ千二百五十二万九千「プード」ヨリ六百二万九千「プード」ニ減退セリ此內西歐羅巴ニ向ヒテハ五百八十六万三千「プード」ヨリ二十五万五千「プード」ニ減退シ千九百三年ノミハ六百六十三万二千「プード」ニ達シタリ又芬蘭ニ向ヒテハ二百五十四万九「プード」ヨリ百十四万五千「プード」ニ減少シ千九百一年ヨリ千九百四年ニ至ル平均額ハ約二百万「プード」ナリ然ルニ極東及土耳其ニ向ヒテ露西亞砂糖ノ輸出ハ同時期ニ於テ四百十一万七千「プード」ヨリ四百六十二万九千「プード」ニ增加セリ此內千九百三年ニハ既ニ五百九十四万ニ達シ千九百四年ニハ六百七十五万三千ニ騰リタリ而シテ土耳其ニ向ヒテハ千九百四年及千九百五年ニハ極東特ニ日本ニ向ヒテノ輸出ハ戰役ノタメニ打擊ヲ被リタリ而シテ土耳其ニ向ヒテハ千九百四年ニ露西亞砂糖ノ輸出ハ獨ト沃設ナリシカ千九百五年ニ於テハ同所ニ於テモ西歐羅巴ヨリ時々ブリュッセル經テ土耳其ニ入ル所ノ濠地利匈牙利ヨリノ砂糖ノタメニ壓倒サレタリ蓋シ是レ戰役及騷亂ノ外ニ千九百三年五月十二日ノ法律ニ依リ砂糖製造者ハ內地需用以上ノ砂糖ヲ之ニ次ク時期ニ廻スコトヽ爲リタルニ因レリ（本年八月九日濠國商業博物館通報）

第7048号

○觀象

○全國觀象 十二月二十二日

氣壓 海面ヲ基準トシ

氣溫 攝氏ヲ以テ表示シ

風 雨量 天氣

○天氣概況 昨朝大島附近ニ在リシ低氣壓ハ高氣壓ノ急進ニ發達シタル為メ磯ラク消滅シタルモノヽ如シ昨日來氣壓ハ亞細亞大陸ニ高ク本邦東部及オコツク海方面ニ向フテ急減シ氣壓ノ傾斜甚大ナリタルヲ以テ全國西ノ風吹キ概シテ曇天ナリシカ今朝ニ至リテハ大平洋岸ハ例ノ如ク快晴ヲ告ケ日本海岸殊ニ北西海岸及北海道ノ西部ニ於テ降雪ス韓國元山附近及同國南西海岸ニ於テハ氣壓ヲ配布ニ不規則ノ處アリ或ハ副低氣壓ノ發生スルモノナルヤノ疑ナキニ非ス響ラク後電ヲ待チテ判ス可キノミ氣溫ハ全國ニ下降シ年々ニ比スレハ稍〻過低トナレリ

十二月二十三日

氣壓 攝氏ヲ以テ表示シ

氣溫 攝氏ヲ以テ表示シ

風 雨量 天氣

○天氣概況 氣壓ハ滿洲及北清ニ高ク「オコツク」海及北海道ニ低ク氣壓ノ傾斜ハ甚大ナルヲ以テ全國西乃至北東ノ風卓越シ殊ニ日本海岸ニ於テハ風力強風以上ニ達セリ日本海岸ハ例ニヨリ降雪頻リシテ中央山脈マテ波及シ來レリ然レトモ大平洋岸ハ天氣晴朗ニシテ今朝霜ヲ見ル琉球及臺灣ニ於テ北東ノ信風發達シ天氣陰鬱ニシテ所々降雨ス氣溫ハ本邦西部及滿韓地方ニ上昇シ東部ニ下降シタリ

十二月二十五日天氣豫報

○全國天氣豫報

第一區 北又ハ東ノ風概ネ曇但シ雨模樣アリ
第二區 北又ハ西ノ風概ネ晴但シ雨又ハ雪模樣ノ所アリ
第三區 同シ
第四區 同シ
第五區 北ノ風概ネ晴後曇
第六區 同シ
第七區 北ノ風概ネ曇
第八區 同シ
第九區 同シ
第十區 同シ

○東京地方天氣豫報

十二月二十四日午前九時發 北ノ風晴後曇
十二月二十四日午後四時發 北又ハ西ノ風晴

○地震

青森外七箇所ノ地震報告左ノ如シ

十二月二十二日 午前六時五十分四十八秒
午後十時十分七秒
午後五時五十五分二十八秒
午前六時四十七分五十八秒
午後三時五十二分五十一秒
午後三時五十三分五十一秒
午後三時五十五分五十五秒

大島 同 微（感覺ナシ）
微 地鳴アリ
長崎 同 微（感覺ナシ）
甲府 同 微（感覺ナシ）
二十三日 性質緩
鯨子 同 微 性質緩
水戸 同 微（感覺ナシ）
鹿島 同 同
皆野 同 同
二十四日 午前五時十四分三十秒
（以上中央氣象臺）

大文字 70148 号

○廣告

○覽觀料半減

博物館及動物園共一般學生生徒並ニ幼稚園孤兒院ノ兒童（五歳ノ子ハ）一圓ヲ爲シ教員附添ロ薬觀ノ向ハ明治四十年一月ヨリ（動物園ハ一五日ヨリ）普通覽觀料ノ半額ヲ徴ス

但シ附添教員兒亦同シ又兒童滿五年未滿ハ無料トス

明治三十九年十二月　大日本外國貿易月表

右發行ス

大藏省總務一年（明治三十三年）分

○圖書發行

明治三十九年十二月　東京帝室博物館

○藏置貨物

觀覽賣所　大藏省

東京市京橋區中橋和泉町五番地　鳳陽堂　小出　美房

左記貨物ハ昨三十八年十二月二十二日本國保税倉庫ニ藏置シタル毛ノミシテ此公告ノ日ヨリ滿六箇月以内ニ引取ヲ爲ス者ナキトキハ保税倉庫法第十六條第二項ニ依リ競賣ニ付スヘシ

明治三十九年十二月　横濱税關

記號	J. F. W & Co.	番號	5001/10	箇數	10ダ	品名	Champagne

○寄贈品

明治三十七八年戰役ニ國シ各地陸軍病院ニ於テ受領シタル寄贈品及寫志者ノ氏名左ノ如シ

明治三十九年十二月　陸軍省

受領年月日	品目	數量	評價	住所	官位勲爵	氏名
三八、二、二六	生花	二瓶	〇、四〇	愛知縣名古屋市東新道町		長谷川くに
同	同	二	〇、四〇	同市東瓦町八八		武藤鐵次郎
同	同	二	〇、四〇	同町七一		早川桑次郎
同一〇	小說雜誌やまと心	九冊	五、四〇	同縣東春日井郡小牧町		小牧町役場
同二	生花	一瓶	〇、一〇	岡縣磐岡市六工町八六		長倉雄平
同	同	一	〇、一〇	愛知縣名古屋市南外廻町一丁目		山田喜一
同	同	五	一、〇〇	同市西武平町三丁目		豐田淺子
同	闘の聲	一〇〇部	二、〇〇	同市石町一二四		水谷幸治郎
同三	生花	二瓶	〇、四〇	東京市芝區芝口二ノ三		救世軍本營
同	同	二	〇、四〇	愛知縣名古屋市伏見町二ノ一五		田原義一
同	同	一	〇、一〇	同市東片端町三ノ一六		小笠原義峰
同	同	一	〇、一〇	同		小笠原高江
同五	雜誌	六一部	〇、六一	同市橋本町一ノ六		橋山ゆい
同	生花	一瓶	〇、一〇	同縣幡豆郡御嶽村字江原臨淨寺内		繍心會
同	同	一	〇、一〇	同縣名古屋市東門前町六三		高木太七
同	同	一	〇、一〇	同町五九		川島富輔
同	同	一	〇、一〇	同市小川町法華寺		增田鳳淳
同天	繪葉書	五〇枚	七、〇〇	三重縣津市佐伯町		赤堀靜子
同	繪葉筒	三、〇〇〇枚封入 五〇〇枚	〇、一〇	愛知縣名古屋市久屋町三ノ二三		山水よね子
同二九	生花	一瓶	〇、一〇			
同	同	一	〇、一〇	同市東京橋區中橋和泉町五番地		長谷川くに
同	同	一	〇、一〇	同市針屋町一ノ七九		武藤鐵次郎
同	同	一	〇、一〇	同市伊勢町五ノ一五七		早川桑次郎
同	同	一	〇、一〇	同市本重町三ノ三〇		小牧町役場
同	同	一	〇、一〇	同市大津町二ノ四九		長倉雄平
同	同	一	〇、一〇	同市朝日町一ノ二		山田喜一
同	同	一	〇、一〇	同市伊勢町一九七		豐田淺子
同	同	一	〇、一〇	同市寶町一ノ一〇		水谷幸治郎
同	同	一	〇、一〇	同市矢場町六七		救世軍本營
同	同	一	〇、一〇	同町三ノ切		田原義一
同	同	一	〇、一〇	同		小笠原義峰
同	同	一	〇、一〇	同縣海東郡蟹江村大海		橋山ゆい
同	同	一	〇、一〇	同郡新蟹江村大海用		繍心會
同	同	一	〇、一〇	同縣名古屋市白壁町		高木太七
同	同	一	〇、一〇	同市小田原町		川島富輔
同	同	一	〇、一〇	同市新出來町		增田鳳淳
同	同	一	〇、一〇	同市相生町		岡田秀太郎
同	唱歌盆石景生花	一、五七三部	四七、一〇	同市榮町二丁目		川村時正
同	同	一大束	一五、〇〇	同縣愛知郡大樹寺村三河佛教四恩會長		關山乙松
同	同	一大束	一五、〇〇	同縣名古屋市石町一二四		宮崎宗健
同	同	三	〇、六〇	同市外堀町十一丁目		楊波造
同	同	五	一、〇〇	同市大津町三丁目		諸頭太郎
同	同	一	〇、一〇	同市小島町七七		岡田秀太郎
同	同	一	〇、一〇	同市花車町一九八		川村時正
同	同	一	〇、一〇	同市小島町二四八		關山乙松
同	同	一	〇、一〇	同市榮柳町一九六		宮崎宗健
同	同	一	〇、一〇	同市榮地町二四一		楊波造
同	同	一	〇、一〇	同町二二三		諸頭太郎
同	同	一	〇、一〇	同町二四一		岡田秀太郎
同	同	一	〇、一〇	靜岡縣藤枝貝		川村時正
同	同	一	〇、一〇	三重縣日本赤十字社		關山乙松
同	同	一	〇、一〇	岐阜縣岐阜市手歳町		宮崎宗健
同	同	一	〇、一〇	愛知縣渥美郡豐橋町魚町		楊波造
同	同	一	〇、一〇			諸頭太郎
同	同	一	〇、一〇	靜岡縣靜岡市七間町		岡田秀太郎
同	同	一	〇、一〇	三重縣津市大門町		川村時正
同	同	一	〇、一〇			關山乙松
同	同	一	〇、一〇			宮崎宗健
同	同	一	〇、一〇			楊波造
同	同	一	〇、一〇			諸頭太郎
同	同	一	〇、一〇			岡田秀太郎
同	同	一	〇、一〇

一月十九日受驗人

東京府平民　渡邊
群馬縣士族　藤崎　光吉
鹿兒島縣平民　信太郎
長野縣平民　岡田　武
埼玉縣平民　桑島　善治郎
兵庫縣平民　堤　信
神奈川縣平民　栗田　繁
鳥取縣平民　濱田　正吉
富山縣平民　細野　孫治郎
秋田縣平民　關澤　庄太郎

一月二十二日受驗人

山形縣平民　渡部　淳弘
岐阜縣平民　岡田　政常
熊本縣平民　濱田　太郎
宮崎縣士族　野田　繁
福島縣平民　原　細野　晉
福島縣平民　玉川　
新潟縣平民　横井　
福島縣平民　鈴木　
高知縣平民　世良　
廣島縣平民　岡村　
三重縣平民　鈴木　
山口縣士族　
福島縣平民　恒光　
猪俣　

一月二十三日受驗人

大分縣平民　河野　岩吉
福島縣平民　澁澤　
山梨縣平民　小村　
新潟縣平民　勝田　
埼玉縣平民　英　
宮崎縣士族　保坂　
新潟縣平民　森　
廣島縣平民　金井　
福井縣平民　
山形縣平民　中江　
島取縣士族　
兵庫縣平民　

一月二十六日受驗人

岐阜縣平民　國井　國太郎
廣島縣平民　坂本　正喜
福井縣平民　宮田　
栃木縣士族　
長野縣士族　
福島縣平民　
埼玉縣平民　
群馬縣平民　
山梨縣平民　
埼玉縣平民　
山形縣平民　

一月二十七日受驗人

愛知縣平民　渡邊　光吉
岐阜縣平民　藤崎　
岐阜縣平民　
福島縣平民　
福島縣平民　
福島縣平民　
新潟縣平民　
山口縣平民　
福島縣平民　
高知縣平民　
山形縣平民　
福島縣平民　
岐阜縣平民　
福島縣平民　
福島縣平民　
福島縣平民　
山口縣平民　
福島縣平民　
山口縣平民　
福島縣平民　

一月二十八日受驗人

和歌山縣平民　
鹿兒島縣平民　
神奈川縣平民　
山口縣士族　
栃木縣平民　
和歌山縣平民　
福島縣平民　
新潟縣平民　
山口縣平民　
福島縣平民　
福島縣平民　
福島

官文 70448

○狩獵免狀

第七〇七號　乙種三等狩獵免狀（遺失）

明治三十九年十二月　石狩國空知郡岩見澤町南七番地　菅浦　精

第五九二號　乙種三等狩獵免狀（亡失）

明治三十九年十二月　足柄下郡小田原町字緑町四丁目六百二十八番地　玉置　知勝

第三號　甲種三等狩獵免狀（遺失）

明治三十九年十二月　西濃波郡福光町大字福光村六千八百十二番地　竹林　久太郎

○購買入札

第百九十一號　鉦形上等横瓦石　十五万箇
第百九十二號　鉦形過機横瓦石　十五万箇
第百九十三號　恐板　六百箇
第百九十四號「セメントン」　二百八十枚
第百九十五號　鐵壓　百十二箇

以上入札保證金各自入札金高百分ノ五以上

右勝買ス入札望ノ者ハ今二十五日ヨリ明治四十年一月九日マテニ營繕證明書携帶出張シ入札ニ得、契約書案及附帯條件ヲ上同十日午前八時ヨリ同十時マテニ入札保證金ヲ納メ同時三十分マテニ入札スヘシ　即時開札ス

明治三十九年十二月　神奈川縣　富山縣

第百九十六號　陸蓄艦
第百九十七號　洋鑑燭
第百九十八號　工形鋼
第百九十九號　湯綿遮時箱
二百箇
十六万本
百十一本
二千箇

第百九十六號　陸蓄艦
第百九十七號　洋鑑燭
第百九十八號　工形鋼
第百九十九號　湯綿遮時箱

以上入札保證金各自見積價百分ノ五以上（但本補闕位ニ切上ク）、入札者ハ二年以上引續キ其業ニ從事セル旨郡市町村長、島司ノ證明アル者ニ限ル、此證明書ハ明治四十年一月十日午後三時マテニ入札書ニ添付スヘシ

右勝買ス入札望ノ者ハ明治四十年一月十日午前十一時マテニ營繕證明書携帶出張シ入札ニ得、契約書案及標本熟覽ノ上同十一日午前十一時マテニ入札書ニ添付スヘシ　即時開札ス

此契約ハ第六師團經理部長原知信擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　北海道廳

第百九十六號　陸蓄艦
第百九十七號　洋鑑燭
第百九十八號　工形鋼
第百九十九號　湯綿遮時箱
二百箇
十六万本
百十一本
二千箇

第百九十六號　陸蓄艦
第百九十七號　洋鑑燭
第百九十八號　工形鋼
第百九十九號　湯綿遮時箱

以上入札保證金各自見積價百分ノ五以上（但本補闕位ニ切上ク）、入札者ハ二年以上引續キ其業ニ從事セル旨郡市町村長、島司ノ證明アル者ニ限ル、此證明書ハ明治四十年一月十日午後三時マテニ入札書ニ添付スヘシ

右勝買ス入札望ノ者ハ明治四十年一月十日午前十一時マテニ營繕證明書携帶出張シ入札ニ得、契約書案及標本熟覽ノ上同十一日午前十一時マテニ入札書ニ添付スヘシ　即時開札ス

此契約ハ第六師團經理部長原知信擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　大阪砲兵工廠

第一號　蹴　三万八千貫
第二號　同　四万三千貫
第三號　同　四万三千貫
第四號　同　二万九千貫
第五號　同　二万八千貫
第六號　同　二万三千貫
第七號　同　二万五千貫
第八號　同　二万一千貫

以上各號共明治四十年二、三月中體用ノ見込

從等セル旨郡市長、島司ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ明治四十年一月十日午後三時マテニ入札書ニ添付スヘシ

右勝買ス入札望ノ者ハ明治四十年一月十五日午後三時マテニ當部ニ出頭入札人心得書、契約書案及標本熟覽ノ上同十六日午前十一時マテニ入札書ニ添付スヘシ　即時開札ス

以上契約ハ第七師團經理部長岡田稻三郎擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　近衛師團經理部

第一號　蹴　三万八千貫
第二號　同　四万三千貫
第三號　同　四万三千貫
第四號　同　二万九千貫
第五號　同　二万八千貫
第六號　同　二万三千貫
第七號　同　二万五千貫
第八號　同　二万一千貫

以上各號共明治四十年二、三月中體用ノ見込

從等セル旨郡市長、島司ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ明治四十年一月十日午後三時マテニ入札書ニ添付スヘシ

右勝買ス入札望ノ者ハ明治四十年一月九日午後三時マテニ營部ニ出頭入札人心得書、契約書案及標本熟覽ノ上同十日午前十一時マテニ入札書ニ添付スヘシ　即時開札ス

以上入札保證金各自見積價百分ノ五以上（但本補闕位ニ切上ク）、入札者ハ二年以上引續キ其業ニ從事セル旨郡市町村長、島司ノ證明アル者ニ限ル

右勝買ス入札望ノ者ハ明治四十年一月十日午後三時マテニ當部ニ出頭入札人心得書、契約書案及標本熟覽ノ上同十一日午前十一時マテニ入札書ニ添付スヘシ　即時開札ス

以上契約ハ第八師團經理部長淺井遠三擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　第三師團經理部

第一號　鉦形過機横瓦石　十五万箇
第二號　鉦形過機横瓦石「セメントン」　恐板　二百八十枚
第百九十五號　鐵壓　百十二箇

以上入札保證金各自入札金高百分ノ五以上

右勝買ス入札望ノ者ハ今二十五日ヨリ明治四十年一月九日マテニ營繕證明書携帶出張シ入札ニ得、契約書案及附帯條件ヲ上同十日午前八時ヨリ同十時マテニ入札保證金ヲ納メ同時三十分マテニ入札スヘシ　即時開札ス

明治三十九年十二月二十五日　第八師團經理部

第一號　蹴米　五百石
第二號　藁　八万貫匁

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來引續キ其業ニ從事スル旨郡市區町村長、島司ノ證明アル者ニ限ル

右勝買ス入札望ノ者ハ明治四十年一月八日マテ（執務時限内）ニ第一號ハ當部又ハ歩兵第四十聯隊、第二號ハ當部ニ就キ入札心得書、契約書案及標本等熟覽ノ上前記ノ證明書ヲ差出シ同九日午前十一時限當部ニ於テ入札スヘシ　即時開札ス

此契約ハ第十師團經理部長鶴田義紹擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　第十師團經理部

測量二五八號　測量標旗　三千枚

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上七以下、契約保證金請負代價百分ノ五（圓未補切上ク圓止トス）、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右勝買ス入札望ノ者ハ當部會計課ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覽ノ上明治四十年一月十日午前十時繰業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札スヘシ　即時開札ス

此契約ハ水路部長坂本一擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　水路部

一黄銅丸棒　二千基

右勝買ス入札望ノ者ハ當廠會計部ニ就キ入札保證金各自見積代價百分ノ五以上

一時限入札書差出スヘシ　即時開札ス

此契約ハ海軍造兵廠長澤鑑之丞擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　海軍造兵廠

○貸付區畫地

明治三十二年三月北海道國令第十九號北海道國有未開地處分法施行細則第一條第一項ニ依リ明治四十年以降貸付スヘキ區畫地左ノ如シ

但シ出願期日及心得方ハ追テ公告ス

明治三十九年十二月

國名	郡名	地名	區畫概數 大畫	中畫	小畫	地積概數
石狩	空知	空知川沿岸（畫畫延長）	一	一	一三五	一、八二一、一八〇
同	同	音江（同）	一	一	一一	一、七〇、〇〇〇
同	同	フラヌ（同）	一	一	一九	一、二〇、〇〇〇
樺戸	同	ホロカオシラリカ	一	二	一五	三三一、〇〇〇
同	石狩	當別	一	二	一四八	一、〇〇〇、〇〇〇
上川	空知	和寒（同）	一	一	九六	一、一四八、〇〇〇
同	同	剣淵（同）	一	一	三四六	五、〇〇〇、〇〇〇
同	同	士別（同）	一	一	一五	一、〇〇〇、〇〇〇
同	後志	似別（同）	一	一	二四	三四一、〇〇〇
同	同	名寄（同）	一	一	七三	三四五、〇〇〇
同	同	名寄（同）	一	一	二四	一、〇〇〇、〇〇〇
同	同	目郷（同）	一	一	一〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同	同	熱郷（同）	一	一	一〇	三〇〇、〇〇〇
同	同	ウタサイ	一	一	一〇	三〇〇、〇〇〇
同	同	小樽川	一	一	一〇	一、八〇〇、〇〇〇
同	同	樽谷	一	一	九七	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	小樽	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	茅部	一	一	一六	一、五〇〇、〇〇〇
同	同	太櫓	一	一	一六	一、五〇〇、〇〇〇
同	同	波部	一	一	一二	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	鶴越	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	山田	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	蛇田	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	有珠	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	虻田	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	洞爺	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	洞爺	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	虻田	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	有珠	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	拂別	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	勇拂	鹿別	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	泉川	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	茶津	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	内浦	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	別屈	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
十勝	同	上札内（同）	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	幌内（同）	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇
同	同	上幌内（同）	一	一	一〇	一、四〇〇、〇〇〇

一十二封軌條　一哩　三千貫（一卷）
一鋼線綱　一哩　三千貫（一卷）
右勝買ス入札望ノ者ハ當所ニ就キ入札人心得書及附屬書類等熟覽ノ上明治四十年一月九日午後二時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ當所ニ入札書差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ海軍採炭所長鈴木富三擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　海軍採炭所

一絲屑　三万基
一移動喇筒　以下五廉
一時鐘（大）　二十箇
一移動送風器　十五箇
一汽罐（大）　以下八廉
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請買代價百分ノ十（圓未滿切上ケ圓止トス）入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
右勝買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覽ノ上明治四十年一月十日午後一時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ（同課ニ入札書差出スヘシ同時三十分開札ス
此契約ハ横須賀海軍工廠會計部長鳥山頼二擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　横須賀海軍工廠會計部

一外國白米　百五十石
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以上引續キ其業ニ從事セル旨市區町村長ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ入札當日午前十時限當監ニ差出スヘシ
右勝買ス入札望ノ者ハ明治四十年一月十四日マテニ當監ニ出頭入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上同
十五日午前十一時限入札書差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ前橋監獄典獄古野尚典擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　前橋監獄

一輕便鐵條屬品類　六點　但馬國朝來郡和田山納
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ケ）
右勝買ス入札望ノ者ハ當所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上明治四十年一月九日午前十一時限入札書ヲ當所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ蹈知山鐵道作業局出張所長小東吾擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　福知山鐵道作業局出張所

○購買入札公告中取消
本月二十日本欄内掲職當部購買入札公告中、電燈及發電用品十八點ノ入札ハ都合ニ依リ取消ス

明治三十九年十二月二十五日　鐵道作業局計理部

○工事請負入札
一第二師團被服廠及事務所新築工事
入札保證金各自見積金高百分ノ五以上、契約保證金落札價格百分ノ十以上、入札者ハ二年以來引續キ建築業ニ從事シ且ツ直接國稅金十圓以上、合名會社ハ其社員ノ直接國稅ヲ併算シ前同臨合資會社株式會社ハ資本金四万圓以上ノ拂込ヲ終リタル者ヲ納ムル旨郡市區町村長ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ當部ニ差出スヘシ
右請負望ノ者ハ今二十五日ヨリ明治四十年一月九日マテノ內當部ニ就キ入札人心得書、工事設計書、圖面、契約書案及現場巡覽熟覽ノ上同十日午前十時限當部入札函ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ第二師團經理部長小倉美佐雄擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　第二師團經理部

山陰西線米子今市間第三工區工事
一築堤　約立一万三百二十三坪
一切取　約立一万六千二百十四坪
一停車場地築　約立四千八百六坪
一同切取　約立三百五十六坪
一川付替　四箇所
一道付替　六十一箇所
一踏切道　約千二百七十三本
一土管伏込　五箇所（延長約三百八十六呎）
一橋梁　四箇所
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ケ）
右請負望ノ者ハ當所ニ就キ入札人心得書、示方書、契約書案、圖面及現場等熟覽ノ上明治四十年一月十五日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ米子鐵道作業局出張所長石丸重美擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　米子鐵道作業局出張所

○入札拂下
第一號　炭量箱外十一點
第二號　青信號燈外十五點
第三號　西洋釘拔外八點
第四號　踏板外二點
第五號　碍子外十一點
第六號　手旗外二十九點
第七號　陸子外五點
第八號　墨壺外二十九點
第九號　古鐵絲四万五百枚
以上入札保證金各自入札金高百分ノ五以上
右賣却ス買受望ノ者ハ明治四十年一月十日マテニ當部ニ出頭入札心得書、契約書案及現品熟覽ノ上同十
一日午前十一時限入札書ヲ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ陸軍運輸部本部長加藤政義擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　陸軍運輸部本部

一鐵臺以下　三百十九廉
一鐵手桶以下　五百三十七廉（現品觀覽ハ明治四十年一月十日ヨリ同月十四日マテトス（日曜日ヲ除ク）
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金買受代價百分ノ十五（圓未滿切上ケ彈止メトス）
右賣却ス買受望ノ者ハ當部計算課ニ就キ入札人心得書、契約書案及現品等熟覽ノ上明治四十年一月十五
日午後零時三十分限入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札書差出スヘシ（入札人ハ入札書ヲ郵送シ又ハ開札ニ立
會ハサルモ差支ナシ）同一時開札ス
此契約ハ横須賀海軍工廠會計部長鳥山頼二擔任ス

明治三十九年十二月二十五日　横須賀海軍工廠會計部

○商業登記
株式會社三越呉服店登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役野崎廣太ハ明治三十九年十二月十九日其住所ヲ東京市麻布區麻布仲ノ町十五番地ニ移轉セリ
一監査役全肥料株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役篠五郎作、大島正義ハ明治三十九年十二月八日重任セリ
合資會社電氣商會登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治三十九年十二月二十日本店ヲ左ノ所ニ移轉セリ
東京市京橋區南鍋町二丁目十五番地
一社員宮本榮太郎、宮本千世ハ明治三十九年十二月二十日其住所ヲ左ノ所ニ移轉セリ
東京府豐多摩郡淀谷村下淀谷百七十五番地　宮本榮太郎
同所　宮本　千世
一社員宮本榮太郎ハ同日更ニ金五千圓ヲ出資シ其出資額ヲ金九千圓ト變更シ同日左記ノ者入社セリ
一金五千圓　有限　東京市赤阪區靈南坂町十五番地　田口　重一

合資會社資英社登記事項中左ノ如ク追加ス
一解散ノ事由及其年月日　總社員ノ同意ニ因リ明治三十九年十二月二十日解散セリ
一清算人ノ氏名住所　坂上思之介
東京市神田區千代田町二番地
株式會社國民銀行支配人藤本德之進ハ其住所ヲ明治三十九年十二月十七日東京市芝區新堀町三十一番地ニ移轉セリ
株式會社國民銀行支配人藤本德之進ハ其住所ヲ明治三十九年十二月十七日東京市芝區新堀町三十一番地ニ移轉セリ
株式會社登記證第九册第四二〇號
一商號　株式會社教育水族館
一本店　東京市下谷區上野花園町四番地
一目的　廣ク水產動物ヲ蒐集飼養シ是ヲ生産シテ其生活狀態ヲ示シ料金ヲ徵シテ公衆ノ觀覽ニ供スルコト
一設立ノ年月日　明治三十九年十二月三日
一資本總額　金八万圓
一各株ニ付拂込ミタル株金額　金五十圓
一公告ヲ爲ス方法　金十二圓五十錢
一取締役ノ氏名住所　本店所轄登記所ノ登記公告ニ用フル新聞紙ヲ以テス
東京市日本橋區本石町三丁目十七番地　大槻　久吉
同市麻布區山元町五十九番地　川合　晉
同市小石川區竹早町六十九番地　安東定治郎
一監査役ノ氏名住所
東京市日本橋區敷窯屋町九番地　林　平次郎
同市神田區錦町一丁目十番地　三樹　一平
明治三十九年十二月三日設立ノ日ヨリ明治五十九年十二月二日迄滿二十箇年
一存立ノ時期
株式會社國民銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役藤本德之進ハ明治三十九年十二月十七日其住所ヲ東京市芝區新堀町三十一番地ニ移轉セリ
右明治三十九年十二月二十日登記
東京市神田區錦町一丁目十番地
東京博覽株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一垣見智藏、中山理賢ハ明治三十九年十二月十五日監査役ニ重任セリ　東京區裁判所千住出張所
右明治三十九年十二月二十一日登記
東京モスリン紡織株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役坂本金之助、入見新助、金子良吉ハ任期滿了ノ處明治三十九年十二月十二日各ハ再選重任セリ　東京區裁判所
右明治三十九年十二月十九日登記
ゼ、ヨコハマ、エンジンブンド、アイヨン、ウワークス、リミテッド登記事項中左ノ通變更ス
一增加シタル資本ノ總額　金三十七万圓
一資本增加決議年月日　明治三十九年十月十一日
一新株中五千三百株ハ各株ニ付金五十圓拂込濟ニ千二百株ハ全部未拂込　東京區裁判所小松川出張所
右明治三十九年十二月十九日外國會社登記簿（株式會社ノ部）第九號ヘ登記ス
チヤイナ、エンド、ジヤパン、トレエーチングコンパニー、リミッテッド登記事項中左ノ通變更ス
一取締役ヲ改選シ左記ノ者當選就任ス　横濱區裁判所
一取締役ノ氏名住所
北米合衆國紐育州紐育市バールリング、　サイラス、デー、ウエッブ
スリップ三十四番地米國人民　ロバート、タリステー
同所同國人民　ダーウヰン、アール、アルドリッヂ
同所同國人民　ハワード、エイヤス

右明治三十九年十二月十九日外國會社登記簿株式會社ノ部第一號ヘ登記ス　横濱區裁判所
同所同國人民
同所同國人民
同所同國人民
商號便用者牧野暎次郎ハ商號及營業ノ種類ヲ左ノ通變更ス
一商號
一營業ノ種類
右明治三十九年十二月十九日商號登記簿第二百七十四號ヘ登記ス
一商號
一營業ノ種類　横濱私立衛生試驗所
一營業所　藥品ノ試驗及藥品販賣業
一商號便用者ノ氏名住所　横濱市境町二丁目三十六番地
右明治三十九年十二月十九日商號登記簿第三百六十號ヘ登記ス　横濱區裁判所
横濱市久保山墓地清掃合資會社ハ解散ス
一解散ノ事由及年月日　總社員ノ同意ニ依リ明治三十九年十二月十日解散ス
右明治三十九年十二月十九日合資會社登記簿第百四十九號ヘ登記ス　横濱區裁判所
横濱市久保山墓地清掃合資會社清算人ヲ選任ス
一清算人ノ氏名住所　横濱市久保町八百六十三番地
右明治三十九年十二月十九日合資會社登記簿第百四十九號ヘ登記ス　横濱區裁判所
一商號　横濱製藥所
一營業ノ種類　製藥及藥品販賣業
一營業所　横濱市常盤町一丁目三番地
一商號便用者ノ氏名住所　横濱市常盤町一丁目三番地
右明治三十九年十二月十九日商號登記簿第三百六十一號ヘ登記ス　横濱區裁判所
富士合資會社横濱支店登記事項中左ノ通變更ス
左記ノ者入社ス　小西　治助
一金五百圓　無限　栃木縣下都賀郡栃木町大字圓部二十四番地　丸山文太郎
右明治三十九年十二月二十日合資會社登記簿第七十二號ヘ登記ス　横濱區裁判所
富士合資會社横濱支店登記事項中左ノ通變更ス
一增資ニ依リ出資額ヲ左ノ通變更ス
一金二万二千五百　無限　靜岡縣榛原郡地頭方村地頭方百十二番地
一金三十二圓　無限　同縣靜岡市安西三丁目五十九番地
一金一万九千二十　無限　同縣志太郡島田町六百四十八番地
一四圓　無限　同縣榛原郡地頭方村地頭方八十二番地
一金一万五百六十　無限　同縣榛原郡地頭方村地頭方百十二番地
一十五圓　無限　同縣周智郡園田村園田千百七十番地
一金八千七十四圓　無限　同縣小笠郡池新田村池新田百九十六番地
一金七千三百九十八圓　無限　丸尾錄三郎
一金五千九百六十一圓　無限　矢部　與作

官報 第七〇四八號 明治三十九年十二月二十五日（第三種郵便物認可）

一金三千二百八十五圓　有限
一金三千二百四十圓　無限
一金二千四百圓　有限
一金二千圓　無限
一金千六百九十一圓　無限
一金千二百二十六圓　無限
一金六百三十四圓　無限
右明治三十九年十二月二十日合資會社登記謄本第七十二號（登記ス

支配人倉橋伊三郎ハ主人花島新七ノ解任ニ依リ代理權消滅ス
右明治三十九年十二月二十日支配人登記謄本第三十二號（登記ス

株式會社平原銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役鈴木吉之丞ハ明治三十九年十二月九日死亡セリ
明治三十九年十二月二十日株式會社登記謄本第一冊第二號（登記ス　横濱區裁判所戸塚出張所

株式會社戸塚銀行登記事項中左ノ通變更ス
一明治三十九年十二月九日監査役鈴木吉之丞ハ死亡ス
右明治三十九年十二月二十日株式會社登記謄本第十一號ニ登記ス　横須賀區裁判所

西原合名會社登記事項中左ノ通變更
一社員西原赤吉ハ住所ヲ東京市日本橋區蠣殼町一丁目二番地（移轉ス
右明治三十九年十二月二十日登記　松戸區裁判所八幡出張所

株式會社登記變更
三島運輸株式會社登記事項中左ノ通變更ス
一株主總會ノ決議ニ依リ明治三十九年十二月七日本店營業所ヲ甲府郡三島町六百三十三番地ニ移轉ス
右明治三十九年十二月二十日登記　沼津區裁判所三島出張所

株式會社登記變更
株式會社内田銀行下内田支店登記事項中左ノ通變更ス
一取締役鈴木健次郎ハ明治三十九年十二月十八日辭任ス
右明治三十九年十二月十九日登記ス　掛川區裁判所平田出張所

合名會社設立登記
一商號　合名會社二文字屋山田商店
一本店　山梨縣甲府市入八日町四十六番地
一目的　漆器指物類販賣業
一設立年月日　明治三十九年十二月十日
一代表社員ノ氏名　山田慈藏
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
一金千五百圓　山梨縣甲府市八日町四十六番地
一金千五百圓　同縣同市同町同番地
一金八百圓　同縣同市同町同番地
一金六百圓　同縣同市三日町百九十一番地
一金六百圓　同縣同市金手町二番地
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿十箇年
右明治三十九年十二月十九日登記　甲府區裁判所

合名會社設立登記
一商號　合名會社ノ文字屋山田商店
一本店　山梨縣甲府市入八日町四十六番地
一目的　漆器指物類販賣業
一設立年月日　明治三十九年十二月十日
一代表社員ノ氏名　山田慈藏
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
一金千五百圓　山梨縣甲府市八日町四十六番地
一金千五百圓　同縣同市同町同番地
一金八百圓　同縣同市三日町百九十一番地
一金六百圓　同縣同市金手町二番地
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿十箇年
右明治三十九年十二月十九日登記　甲府區裁判所

株式會社登記變更
株式會社内田銀行下内田支店登記事項中左ノ通變更ス
一取締役鈴木健次郎ハ明治三十九年十二月十八日辭任ス
右明治三十九年十二月十九日登記ス　掛川區裁判所平田出張所

合名會社設立登記
一商號　合名會社ノ文字屋山田商店
一本店　山梨縣甲府市入八日町四十六番地
一目的　漆器指物類販賣業
一設立年月日　明治三十九年十二月十日
一代表社員ノ氏名　山田慈藏
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
一金千五百圓　山梨縣甲府市八日町四十六番地
一金千五百圓　同縣同市同町同番地
一金八百圓　同縣同市三日町百九十一番地
一金六百圓　同縣同市金手町二番地
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿十箇年
右明治三十九年十二月十九日登記　甲府區裁判所

合名會社設立登記祭十六號
一商號　合名會社
一本店　丸尾定十
一目的　丸尾儀作
一設立ノ年月日　丸尾文七
一存立ノ時期　又ハ解散ノ事由　佐藤吉右衛門
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格　伊藤勝次郎
一金四千圓　桑下幾太郎
一金三千五百圓　池嶋知喜貫
一金二千五百圓　横濱區裁判所
右明治三十九年十二月二十日登記　横濱區裁判所

株式會社高松百十四銀行草盤支店登記事項中左ノ通變更ス
一監査役鈴木吉之丞ハ明治三十九年十二月九日死亡セリ
明治三十九年十二月二十日株式會社登記謄本第一冊第二號（登記ス　横濱區裁判所戸塚出張所

株式會社登記變更
株式會社内田銀行下内田支店登記事項中左ノ通變更ス
一取締役鈴木健次郎ハ明治三十九年十二月十八日辭任ス
右明治三十九年十二月十九日登記ス　掛川區裁判所平田出張所

合名會社設立登記
一商號　合名會社ノ文字屋山田商店
一本店　山梨縣甲府市入八日町四十六番地
一目的　漆器指物類販賣業
一設立年月日　明治三十九年十二月十日
一代表社員ノ氏名　山田慈藏
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
一金千五百圓　山梨縣甲府市八日町四十六番地
一金千五百圓　同縣同市同町同番地
一金八百圓　同縣同市三日町百九十一番地
一金六百圓　同縣同市金手町二番地
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿十箇年
右明治三十九年十二月十九日登記　甲府區裁判所

株式會社高松百十四銀行草盤支店登記事項中左ノ通變更ス
一監査役鈴木吉之丞ハ明治三十九年十二月九日死亡セリ
明治三十九年十二月二十日株式會社登記謄本第一冊第二號（登記ス　横濱區裁判所戸塚出張所

株式會社登記變更
株式會社平原銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役鈴木吉之丞ハ明治三十九年十二月九日死亡セリ
明治三十九年十二月二十日株式會社登記謄本第一冊第二號（登記ス　横濱區裁判所戸塚出張所

株式會社登記變更
株式會社高田銀行下高田支店登記事項中左ノ通變更ス
一監査役鈴木吉之丞ハ明治三十九年十二月九日死亡セリ
明治三十九年十二月二十日株式會社登記謄本第七十二號（登記ス　横濱區裁判所

株式會社高松百十四銀行草盤支店登記事項中左ノ通變更ス
一監査役鈴木吉之丞ハ明治三十九年十二月九日死亡セリ
明治三十九年十二月二十日株式會社登記謄本第一冊第二號（登記ス　横濱區裁判所戸塚出張所

株式會社登記變更
株式會社高田銀行下高田支店登記事項中左ノ通變更ス
一監査役鈴木吉之丞ハ明治三十九年十二月九日死亡セリ
明治三十九年十二月二十日株式會社登記謄本第七十二號（登記ス　横濱區裁判所

株式會社高松百十四銀行草盤支店登記事項中左ノ通變更ス
一監査役鈴木吉之丞ハ明治三十九年十二月九日死亡セリ
明治三十九年十二月二十日株式會社登記謄本第一冊第二號（登記ス　横濱區裁判所戸塚出張所

株式會社登記變更
株式會社高田銀行下高田支店登記事項中左ノ通變更ス
一監査役鈴木吉之丞ハ明治三十九年十二月九日死亡セリ
明治三十九年十二月二十日株式會社登記謄本第七十二號（登記ス　横濱區裁判

一會社株式會社設立ノ力法及認許ノ通知ス
明治三十九年十一月二十五日
登記
松山區裁判所

一個人組織株式會社
右明治三十九年十一月二十日社員ノ變動ノ登記ヲ爲シタリ
岡山區裁判所

一中外國株式會社ヲ解散シタリ
右明治三十九年十一月十日登記
岡山區裁判所

一株式會社設立ノ力法及認許ノ通知ス
明治三十九年十一月十日
登記
長崎區裁判所

一株式會社設立ノ力法及認許ノ通知ス
明治三十九年十一月十日
登記
大村

○法人登記

社團法人事務所移轉及理事選任登記

神山報德社登記事項中左ノ通變更ス

一明治三十九年十二月十六日事務所ヲ駿東郡富士岡村神山四百十八番地ニ移轉シ理事ニ駿東郡富士岡村神山八十二番地小林有次郎當選就任ス

右明治三十九年十二月二十日登記

明治三十九年十二月二十日　沼津區裁判所御廚出張所

護宗本願寺派護持會財團登記事項中左ノ通變更ス　理事小田尊順ハ辭職重任ス

右明治三十九年十二月十九日登記　京都區裁判所

名古屋市矢場町二十六番地愛知育兒院登記事項中左ノ通變更ス

一理事任期滿了ニ付明治三十九年十二月十七日設立者ハ左ノ者ヲ理事ニ選定ス

名古屋市矢場町二十六番地　服部與右衛門
同市鐵砲町百二番戸　西村善平
同市南外堀町百四丁目三番地　角淵宣
同市新柳町百十六番戸　鵜飼喜八
同市久屋町百五十九番戸　藤濱賢得
西春日井郡杉村大字杉四百二十二番地　近藤謙賢
知多郡有松町大字有松五番戸　荒谷性顯
名古屋市久屋町九十四番戸　青井恒次郎
同市傳馬町九十四番戸　水谷房次郎
同市玉屋町九十八番戸　宮地茂助
平子德右衛門

以上明治三十九年十二月十九日登記

右公告ス

明治三十九年十二月十九日　名古屋區裁判所

○產業組合登記

產業組合登記簿第一冊第六號ヘ左ノ如ク登記ス

一名稱　有限責任三橋村信用購買組合
二組織　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地
三事務所　同縣同郡同村大字川崎千四百三十七番地
四目的　組合員ノ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ併テ農事及生計ニ要スル物品ヲ購買スルヲ以テ目的トス
五設立許可ノ年月日　明治三十九年十一月二十七日
六出資一口ノ金額　金十圓
七出資拂込ノ方法　出資第一回拂込金額一口ニ付キ金二圓トシ一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ外一口ニ付キ毎月金四十錢ツヽヲ拂込ムモノトス
八理事ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡三橋村大字側ヶ谷戸三百五十六番地　武笠庄太郎
同縣同郡同村大字並木八十八番地　林健治郎
同縣同郡同村大字川崎百四十一番地　吉田熊藏
同縣同郡同村大字下內野百十九番地　新藤安太郎
同縣同郡同村大字上小村田五十三番地　原田熊太郎
同縣同郡同村大字中小村田二番地
九監事ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地　田島竹太郎
同縣同郡同村大字並木百十一番地　鈴木貞之助
同縣同郡同村大字上小村田十四番地　橫溝又兵衛
明治五十四年十一月二十六日迄滿十五箇年
十存立時期
右明治三十九年十二月二十一日登記　浦和區裁判所大宮出張所

產業組合設立登記

一名稱　無限責任山口村信用購買組合
二組織　無限責任
三事務所　長野縣西筑摩郡山口村八百六十六番地イノ一
四目的　組合員ニ農蠶林業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ竝ニ農蠶林業及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルニアリ
五設立許可ノ年月日　明治三十九年十一月二十六日
六出資一口ノ金額　金二十圓
七出資拂込ノ方法　出資第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ充ツルモノヽ外毎年七月十五日金二圓ツヽ拂込ツナス
八理事ノ氏名住所　長野縣西筑摩郡山口村四十七番地　市脇房太郎
同縣同郡同村百九十一番地　林平六
同縣同郡同村四十四番地　宮下菊司
九監事ノ氏名住所　長野縣西筑摩郡山口村八十八番地　外垣賢十郎
長野縣同郡同村百七十八番地　後藤爲七
同縣同郡同村五十一番地　園原彥三郎
同縣同郡同村百八十番地　宮下虎三
同縣同郡同村百四十一番地　橋桜太郎
右明治三十九年十二月二十日登記　福島區裁判所讀書出張所

產業組合設立登記

無限責任吉倉信用組合登記事項中左ノ通變更ス

一監事福永正一郎ハ福永鐵之助ト改名シタリ

右明治三十九年十二月十九日登記　三次區裁判所三良坂出張所

一名稱　有限責任川崎信用組合
二組織　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地
三事務所　同縣同郡同村大字川崎千四百三十七番地
四目的　組合員ノ產業上ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメルヲ以テ目的トス
五設立許可ノ年月日　明治三十九年十一月二十九日
六出資一口ノ金額　金二十圓
七出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額一口ニ付金五圓トシ拂込剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外出資各口ニ付毎年六月末及十一月末金二圓五十錢宛ノ拂込ヲ爲サシメ明治四十二年末迄ニ出資總額ノ拂込濟トナル
八理事ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡三橋村大字側ヶ谷戸三百五十六番地　武笠庄太郎
同縣同郡同村大字並木八十八番地　林健治郎
同縣同郡同村大字川崎百四十一番地　吉田熊藏
同縣同郡同村大字下內野百十九番地　新藤安太郎
同縣同郡同村大字上小村田五十三番地　原田熊太郎
同縣同郡同村大字中小村田二番地
九監事ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡三橋村大字側ヶ谷戸十番地　田島竹太郎
同縣同郡同村大字並木百十一番地　鈴木貞之助
同縣同郡同村大字上小村田十四番地　橫溝又兵衛
十存立時期　明治五十四年十一月二十六日迄滿十五箇年
右明治三十九年十二月二十一日登記　浦和區裁判所大宮出張所

產業組合設立登記

一名稱　無限責任
二組織　長野縣西筑摩郡山口村八百六十六番地イノ一
三事務所　組合員ニ農蠶林業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ竝ニ農蠶林業及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルニアリ
四目的
五設立許可ノ年月日　明治三十九年十一月二十六日
六出資一口ノ金額　金二十圓
七出資拂込ノ方法　出資第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ充ツルモノヽ外毎年七月十五日金二圓ツヽ拂込ツナス
八理事ノ氏名住所　長野縣西筑摩郡山口村四十七番地　市脇房太郎
同縣同郡同村百九十一番地　林平六
同縣同郡同村四十四番地　宮下菊司
九監事ノ氏名住所　長野縣西筑摩郡山口村八十八番地　外垣賢十郎
長野縣同郡同村百七十八番地　後藤爲七
同縣同郡同村五十一番地　園原彥三郎
同縣同郡同村百八十番地　宮下虎三
同縣同郡同村百四十一番地　橋桜太郎
右明治三十九年十二月二十日登記　福島區裁判所讀書出張所

產業組合設立登記

一名稱　有限責任
二組織　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地
三事務所　同縣同郡同村大字並木百十一番地
四目的　組合員ノ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ併テ農事及生計ニ要スル物品ヲ購買スルヲ以テ目的トス
五設立許可ノ年月日　明治三十九年十一月二十七日
六出資一口ノ金額　金二圓
七出資拂込ノ方法　出資第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ外一口ニ付キ毎月金四十錢ツヽヲ拂込ムモノトス
八理事ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡三橋村大字側ヶ谷戸三百五十六番地　武笠庄太郎
同縣同郡同村大字並木八十八番地　林健治郎
同縣同郡同村大字川崎百四十一番地　吉田熊藏
同縣同郡同村大字下內野百十九番地　新藤安太郎
同縣同郡同村大字上小村田五十三番地　原田熊太郎
同縣同郡同村大字中小村田二番地
九監事ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地　田島竹太郎
同縣同郡同村大字並木百十一番地　鈴木貞之助
同縣同郡同村大字上小村田十四番地　橫溝又兵衛
十存立時期　明治五十四年十一月二十六日迄滿十五箇年
右明治三十九年十二月二十一日登記　浦和區裁判所大宮出張所

產業組合設立登記

一名稱　有限責任川崎信用組合
二組織　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地
三事務所　同縣同郡同村大字川崎千四百三十七番地
四目的　組合員ノ產業上ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメルヲ以テ目的トス
五設立許可ノ年月日　明治三十九年十一月二十九日
六出資一口ノ金額　金二十圓
七出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額一口ニ付キ金五圓トシ拂込剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外出資各口ニ付毎年六月末及十一月末金二圓五十錢宛ノ拂込ヲ爲サシメ明治四十二年末迄ニ出資總額ノ拂込濟トナル
八理事ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地　武笠庄太郎
同縣同郡同村大字並木八十八番地　林健治郎
同縣同郡同村大字川崎百四十一番地　吉田熊藏
同縣同郡同村大字下內野百十九番地　新藤安太郎
同縣同郡同村大字上小村田五十三番地　原田熊太郎
同縣同郡同村大字中小村田二番地
九監事ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地　田島竹太郎
同縣同郡同村大字並木百十一番地　鈴木貞之助
同縣同郡同村大字上小村田十四番地　橫溝又兵衛
十存立時期　明治五十四年十一月二十六日迄滿十五箇年
右明治三十九年十二月二十一日登記　浦和區裁判所大宮出張所

產業組合設立登記

無限責任吉倉信用組合登記事項中左ノ通變更ス

一監事福永正一郎ハ福永鐵之助ト改名シタリ

右明治三十九年十二月十九日登記　三次區裁判所三良坂出張所

一名稱　有限責任川崎信用組合
二組織　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地
三事務所　同縣同郡同村大字川崎千四百三十七番地
四目的　組合員ノ產業上ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメルヲ以テ目的トス
五設立許可ノ年月日　明治三十九年十一月二十九日
六出資一口ノ金額　金二十圓
七出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額一口ニ付キ金五圓トシ拂込剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外出資各口ニ付毎年六月末及十一月末金二圓五十錢宛ノ拂込ヲ爲サシメ明治四十二年末迄ニ出資總額ノ拂込濟トナル
八理事ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地　武笠庄太郎
同縣同郡同村大字並木八十八番地　林健治郎
同縣同郡同村大字川崎百四十一番地　吉田熊藏
同縣同郡同村大字下內野百十九番地　新藤安太郎
同縣同郡同村大字上小村田五十三番地　原田熊太郎
同縣同郡同村大字中小村田二番地
九監事ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地　田島竹太郎
同縣同郡同村大字並木百十一番地　鈴木貞之助
同縣同郡同村大字上小村田十四番地　橫溝又兵衛
十存立時期　明治五十四年十一月二十六日迄滿十五箇年
右明治三十九年十二月二十一日登記　浦和區裁判所大宮出張所

產業組合設立登記

無限責任吉倉信用組合登記事項中左ノ通變更ス

一監事福永正一郎ハ福永鐵之助ト改名シタリ

右明治三十九年十二月十九日登記　三次區裁判所三良坂出張所

○法人登記

社團法人事務所移轉及理事選任登記

神山報德社登記事項中左ノ通變更ス

一明治三十九年十二月十六日事務所ヲ駿東郡富士岡村神山四百十八番地ニ移轉シ理事ニ駿東郡富士岡村神山八十二番地小林有次郎當選就任ス

右明治三十九年十二月二十日登記

明治三十九年十二月二十日　沼津區裁判所御廚出張所

護宗本願寺派護持會財團登記事項中左ノ通變更ス　理事小田尊順ハ辭職重任ス

右明治三十九年十二月十九日登記　京都區裁判所

名古屋市矢場町二十六番地愛知育兒院登記事項中左ノ通變更ス

一理事任期滿了ニ付明治三十九年十二月十七日設立者ハ左ノ者ヲ理事ニ選定ス

名古屋市矢場町二十六番地　服部與右衛門
同市鐵砲町百二番戸　西村善平
同市南外堀町百四丁目三番地　角淵宣
同市新柳町百十六番戸　鵜飼喜八
同市久屋町百五十九番戸　藤濱賢得
西春日井郡杉村大字杉四百二十二番地　近藤謙賢
知多郡有松町大字有松五番戸　荒谷性顯
名古屋市久屋町九十四番戸　青井恒次郎
同市傳馬町九十四番戸　水谷房次郎
同市玉屋町九十八番戸　宮地茂助
平子德右衛門

以上明治三十九年十二月十九日登記

右公告ス

明治三十九年十二月十九日　名古屋區裁判所

○產業組合登記

產業組合登記簿第一冊第六號ヘ左ノ如ク登記ス

一名稱　有限責任三橋村信用購買組合
二組織　有限責任
三事務所　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地
四目的　組合員ノ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ併テ農事及生計ニ要スル物品ヲ購買スルヲ以テ目的トス
五設立許可ノ年月日　明治三十九年十一月二十七日
六出資一口ノ金額　金二圓
七出資拂込ノ方法　出資第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ外一口ニ付キ毎月金四十錢ツヽヲ拂込ムモノトス
八理事ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡三橋村大字側ヶ谷戸三百五十六番地　武笠庄太郎
同縣同郡同村大字並木八十八番地　林健治郎
同縣同郡同村大字川崎百四十一番地　吉田熊藏
同縣同郡同村大字下內野百十九番地　新藤安太郎
同縣同郡同村大字上小村田五十三番地　原田熊太郎
同縣同郡同村大字中小村田二番地
九監事ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地　田島竹太郎
同縣同郡同村大字並木百十一番地　鈴木貞之助
同縣同郡同村大字上小村田十四番地　橫溝又兵衛
十存立時期　明治五十四年十一月二十六日迄滿十五箇年
右明治三十九年十二月二十一日登記　浦和區裁判所大宮出張所

產業組合設立登記

一名稱　無限責任山口村信用購買組合
二組織　無限責任
三事務所　長野縣西筑摩郡山口村八百六十六番地イノ一
四目的　組合員ニ農蠶林業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ竝ニ農蠶林業及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルニアリ
五設立許可ノ年月日　明治三十九年十一月二十六日
六出資一口ノ金額　金二十圓
七出資拂込ノ方法　出資第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ充ツルモノヽ外毎年七月十五日金二圓ツヽ拂込ツナス
八理事ノ氏名住所　長野縣西筑摩郡山口村四十七番地　市脇房太郎
同縣同郡同村百九十一番地　林平六
同縣同郡同村四十四番地　宮下菊司
九監事ノ氏名住所　長野縣西筑摩郡山口村八十八番地　外垣賢十郎
長野縣同郡同村百七十八番地　後藤爲七
同縣同郡同村五十一番地　園原彥三郎
同縣同郡同村百八十番地　宮下虎三
同縣同郡同村百四十一番地　橋桜太郎
右明治三十九年十二月二十日登記　福島區裁判所讀書出張所

產業組合設立登記

一名稱　有限責任
二組織　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地
三事務所　同縣同郡同村大字並木百十一番地
四目的　組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ併テ農事及生計ニ要スル物品ヲ購買スルヲ以テ目的トス
五設立許可ノ年月日　明治三十九年十一月二十七日
六出資一口ノ金額　金二圓
七出資拂込ノ方法　出資第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ外一口ニ付キ毎月金四十錢ツヽヲ拂込ムモノトス
八理事ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡三橋村大字側ヶ谷戸三百五十六番地　武笠庄太郎
同縣同郡同村大字並木八十八番地　林健治郎
同縣同郡同村大字川崎百四十一番地　吉田熊藏
同縣同郡同村大字下內野百十九番地　新藤安太郎
同縣同郡同村大字上小村田五十三番地　原田熊太郎
同縣同郡同村大字中小村田二番地
九監事ノ氏名住所　埼玉縣北足立郡三橋村大字並木千四百十六番地　田島竹太郎
同縣同郡同村大字並木百十一番地　鈴木貞之助
同縣同郡同村大字上小村田十四番地　橫溝又兵衛
十存立時期　明治五十四年十一月二十六日迄滿十五箇年
右明治三十九年十二月二十一日登記　浦和區裁判所大宮出張所

產業組合設立登記

無限責任吉倉信用組合登記事項中左ノ通變更ス

一監事福永正一郎ハ福永鐵之助ト改名シタリ

右明治三十九年十二月十九日登記　三次區裁判所三良坂出張所

○相續財產管理人選任

山梨縣東八代郡一宮村無番地平民　佐藤文吉

天保元年一月十五日愛知縣海西郡加氣新田村ニ於テ出生、明治三十九年二月三日山梨縣東山梨郡日川村ニ於テ死亡

右相續財產管理人小野美太郎辭任ニ付山梨縣東山梨郡日川村蘇原榊太郎ヲ右ムヒノ相續財產管理人ニ選任シタリ

明治三十九年十二月二十日　甲府區裁判所

○準禁治產宣告

德島縣美馬郡牟田村大字牟田口山村三百五十五番屋敷平民農　重本關吉

安政四年九月一日生

右ハ同居妻重本タケノ申請ニ因リ浪費者ト認メ準禁治產ノ宣告ス

明治三十九年十二月二十日　脇町區裁判所

判事　渡部喜太郎

佐賀縣小城郡西多久村大字長尾三十二番地月主平民　永池清吉

天保三年十一月二十七日生

右宣告ヲ永池愛藏一ノ申立ニ因リ心神錯亂者ト認メ明治三十九年十二月十一日準禁治產者ト宣告ス

明治三十九年十二月十九日　佐賀區裁判所

判事　深田留治

熊本縣芦北郡二見村大字洲口字七百七十一番地平民農　串山康治

明治十一年九月十四日生

右ニ對シ父串山傳吉ノ申立ニ因リ浪費者ト認メ本日準禁治產ノ宣告ヲ爲シタリ

明治三十九年十二月十九日　八代區裁判所

判事　松岡廉雄

○準禁治產宣告取消

德島縣阿波郡市番村大字市場町字町筋三百九十番地平民農　坂東治三郎

元治元年五月五日生

右ノ者ニ對シ明治三十四年六月十日當區裁判所ノ宣告シタル準禁治產ハ同居ノ妻坂東ウラノ申立ニ因リ之ヲ取消ス

明治三十九年十二月二十日

○公示催告

長野縣下伊那郡上飯田村甲二百七十三番地平民

不在者　川路區裁判所

慶應元年六月六日生

慶光寺彌太郎

判事　海原憐平

右ノ者ニ對シ父孫三郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ

明治三十九年十二月十九日

山口縣都濃郡下松町第六百三十八番屋敷平民

不在者　飯田區裁判所

慶應三年十月十日生

中村庸一

判事　齋藤喜三郎

右ノ者ニ對シ其發父中村常藏ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十年七月三日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ノ宣告ヲ爲スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ

明治三十九年十二月二十日

愛媛縣喜多郡大瀧村貫四百十番地第三平民無職業

不在者　德山區裁判所

坂本勘三郎

安政五年八月二日生

判事　吹譯健吉

右ニ對シ利害關係人同所坂本源十郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十年六月二十日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ

明治三十九年十二月十八日

本籍佐賀縣東松浦郡鏡村大字水五十三番地平民無職業最後ノ住所水籍地ニ同シ

鍋田琅之助

被相續人

天保六年十一月二十八日本籍地ニ於テ出生、明治三十四年十一月二十八日佐賀縣監獄病院ニ於テ死亡

右相續財產管理人佐賀縣東松浦郡鏡村大字鏡三十二番地日雇戸澤磯ノ請求ニ因リ前記死亡ノ日ノ相續人アラハハ明治四十年十二月五日迄ニ其權利ヲ主張スヘシ

明治三十九年十一月二十七日　唐津區裁判所

判事　久保惣郎

第70148号

本籍佐賀縣東松浦郡鏡村大字宇木五十二番地平民經營業最後ノ住所本籍地ニ同シ　鶴田萬太郎
被相續人

慶應三年四月二十三日本籍地ニ於テ出生、明治三十四年二月二十七日福岡縣遠賀郡折尾村大字折尾二千四十九番地ニ於テ死亡

右相續財產管理人佐賀縣東松浦郡鏡村大字鏡三十二番地ロ搦戸勇藏ノ請求ニ因リ前記萬太郎ノ相續人アラハ明治四十年十二月五日迄ニ其權利ヲ主張スヘシ

明治三十九年十一月二十七日　唐津區裁判所　判事　久保覺郎

○失踪宣告

名古屋市石町一丁目十三番地　小川堅好　不在者　天保三年十二月二十三日生

右ノ者ニ對シ小川さゝノ申立ニ因リ失踪者ト宣告シタリ

明治三十九年十二月十九日　名古屋區裁判所　判事　寒川瀏

○除權判決

東京市深川區佐賀町二丁目五十六番地　木村德兵衛　申立人

一貨物引換證一通但運送品二等米百五俵到着地新橋驛荷受人木村德兵衛荷送人　桑浦孝三郎運送方法汽車便運賃其他契約要領貸切貨濟配送著拂引渡地東京市作成者越前丸岡驛前丸岡運送店宛名內國通運株式會社新橋支店作成年月日明治三十九年一月九日

右貨物引換證ニ付キ申立人ノ申立ニヨリ公示催告ヲ爲シタル處明治三十九年十二月二十日午前九時ノ期日迄ニ權利ヲ屆出テ且ツ該證券ヲ提出スルモノナキヲ以テ申立人ノ申立ニ基ツキ前記貨物引換證ノ無效ヲ宣言ス

明治三十九年十二月二十日　東京區裁判所　判事　野村定次

○東京郵便局外國郵便締切時限

今二十五日神戸マテ汽車便送同地ヨリ「ゲンフア」號ヲ以テ上海經由廣清地方ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各二等局	書留	同上
普通	二十五日午後九時	二十五日午後六時		

明二十六日橫濱マテ汽車便送同地ヨリ信濃丸ヲ以テビクトリア經由米國及歐洲（差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各二等局	橫濱局
普通	十六日午前九時半	二十五日午後十時	二十六日午前十一時半
書留	同日午前九時	同上	同日午前十一時
小包	二十五日午後七時	同日午後五時	
驛合爲替	二十六日午前八時半	同日午後四時	
特別爲替	二十五日正午十二時	同日午前九時半	

（備考）小包ハ加拿陀、北米合衆國及ポートリコ宛

（注意）高輪局ノ締切時刻ハ他市內各局ニ比シ五十三分、青山局ハ十八分、白金局ハ十六分早シ午後十時ナル締切時刻ハ各局ニ共通スルモノトス

○同上締切廢告

四十年一月三、二十二日頃ポートランド經由、同八、十九、二十六日頃布哇經由、同九、二十、二十三日頃シアトル經由、同十日頃タコマ經由、同十九、二十四日頃バンクーバー經由、以テ歐米諸國ヘ郵便締切ノ筈

○日本郵船株式會社汽船橫濱出發表

今二十五日正午十二時橫濱出帆四日市、神戸行

三河丸　同日午後四時橫濱出帆神戸行（出帆日延）

銅路丸　同日午後四時橫濱出帆釜山、元山、城津行（神戸、大阪、門司經由）

三池丸　明二十六日未明橫濱出帆狹ノ濱、函館、小樽行

（新造船）常陸丸（歐洲行）同日正午十二時橫濱出帆本月二十九日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、坡西士、馬耳塞、倫敦、安土府行（橫濱、神戸、棧橋繫留）

信濃丸（米國行）同日午後二時橫濱出帆ビクトリア、シアトル行（橫濱、棧橋繫留）

前記港地ニ於テ桑港、タコマ、ポートランド、バンクーバー、紐資其他合衆國及歐洲各地行汽車汽船ニ接續スルニ付キ各地行通船客切符及通船荷證券ヲ發行ス（米國行三等乘船申込ハ出帆當日三日前迄トス）

弘濟丸　明後二十七日午前十時橫濱出帆本月二十九日午前十時神戸出帆上海行（門司、長崎經由）（橫濱、神戸、棧橋繫留）

近江丸　同日正午十二時橫濱出帆仁川、大連、芝罘行（四日市、神戸、門司經由）

喜佐方丸　同二十八日午後四時橫濱出帆神戸、門司、基隆、安平、打狗行（船客ヲ搭載セス）

兵庫丸　四十年一月十日午後二時橫濱出帆八丈島、父島、母島（神港、東港）行

○同上神戸等出發表

本月二十八日午前十時神戸出帆上海行（門司經由）

立神丸　同日頃午後三時敦賀出帆境行

高砂丸　同三十日午前十時神戸出帆釜山、元山行（門司、長崎經由）

弘前丸　同三十一日午前十時神戸出帆上海行（門司經由）（船客ヲ搭載セス）

新潟丸　同三十一日午前十時神戸出帆上海行（門司經由）（船客ヲ搭載セス）

橫濱丸　四十年一月二日午後一時神戸出帆大連行（宇品、門司經由）

相模丸　同九日午前十時神戸出帆釜山、仁川、芝罘、泰皇島行（門司、長崎經由）

臺灣航路　神戸發　門司著發　基隆著

四京丸　四十年一月三日正午十二時　四日　七日

神戸丸　同十八日正午十二時　十九日　二十二日

本船ハ神戸ニテ鐵道接續繫留ニ付キ同所ニテ切符購入御乘船ノ便アリ

毎日　午前十時半　函館發　午後八時半　室蘭著　翌日午前四時半

午後十一時　函館止メ　午後六時半（直航）　翌日午前六時半

○大阪商船株式會社及大家商船合資會社汽船神戸等出發表

韓國行

筑後川丸　明後二十七日午前五時大阪出帆同日正午前八時神戸出帆下關博多、鹽原、釜山、馬山行

隅田川丸　同日午前七時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司、下關、釜山、元山、城津行

大智丸　本月二十九日午前七時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司、下關、仁川、鎮南浦行

群山丸　同日午前七時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司、下關、釜山、馬山、木浦、群山、仁川行

基隆丸　同日正午十二時大阪出帆三十日午前十時神戸出帆門司、大連行（大連ハ大棧橋ニ繫留ス）

大信丸　四十年一月三日午前七時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司、下關、仁川行

清國行

大義丸　明二十六日正午十二時大阪出帆翌日午前十時神戸出帆門司、大連行（大連ハ大棧橋ニ繫留ス）

釜山丸　本月二十八日大阪出帆神戸、門司、上海行（船客ヲ搭載セス）

潮州丸　同日大阪出帆神戸、大連、芝罘行（船客ヲ搭載セス）

開城丸　同二十九日正午十二時大阪出帆同三十日午前十時神戸出帆門司、大連行（大連ハ大棧橋ニ繫留ス）

大仁丸　四十年一月二日正午十二時大阪出帆同二日午前十時神戸出帆門司、大連行（大連ハ大棧橋ニ繫留ス）

臺灣行

臺中丸　毎月十日、二十五日正午十二時神戸出帆門司基隆行

韓國清國臺灣沖繩行船客ニシテ大阪又ハ神戸ヨリ御乘船ノ方ニハ東京橫濱代理店並ニ兩市內出札所ニテ乘船切符發賣ス

浦潮斯德行

安平丸　本月三十一日午後五時門司出帆釜山、元山、浦潮斯德行

上海、香港、印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ臨時差出サルヽ方速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船橫濱出發表

厦船越後丸　今二十五日正午十二時橫濱出帆四日市、神戸行

三河丸　同日午後四時橫濱出帆神戸行（出帆日延）

銅路丸　同日午後四時橫濱出帆釜山、元山、城津行（神戸、大阪、門司經由）

三池丸　明二十六日未明橫濱出帆狹ノ濱、函館、小樽行

（新造船）常陸丸（歐洲行）同日正午十二時橫濱出帆本月二十九日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、坡西士、馬耳塞、倫敦、安土府行（橫濱、神戸、棧橋繫留）

信濃丸（米國行）同日午後二時橫濱出帆ビクトリア、シアトル行（橫濱、棧橋繫留）

前記港地ニ於テ桑港、タコマ、ポートランド、バンクーバー、紐資其他合衆國及歐洲各地行汽車汽船ニ接續スルニ付キ各地行通船客切符及通船荷證券ヲ發行ス（米國行三等乘船申込ハ出帆當日三日前迄トス）

弘濟丸　明後二十七日午前十時橫濱出帆本月二十九日午前十時神戸出帆上海行（門司、長崎經由）（橫濱、神戸、棧橋繫留）

近江丸　同日正午十二時橫濱出帆仁川、大連、芝罘行（四日市、神戸、門司經由）

喜佐方丸　同二十八日午後四時橫濱出帆神戸、門司、基隆、安平、打狗行（船客ヲ搭載セス）

兵庫丸　四十年一月十日午後二時橫濱出帆八丈島、父島、母島（神港、東港）行

○同上神戸等出發表

本月二十八日午前十時神戸出帆上海行（門司經由）

立神丸　同日頃午後三時敦賀出帆境行

高砂丸　同三十日午前十時神戸出帆釜山、元山行（門司、長崎經由）

弘前丸　同三十一日午前十時神戸出帆上海行（門司經由）（船客ヲ搭載セス）

新潟丸　同三十一日午前十時神戸出帆上海行（門司經由）（船客ヲ搭載セス）

橫濱丸　四十年一月二日午後一時神戸出帆大連行（宇品、門司經由）

相模丸　同九日午前十時神戸出帆釜山、仁川、芝罘、泰皇島行（門司、長崎經由）

臺灣航路　神戸發　門司著發　基隆著

四京丸　四十年一月三日正午十二時　四日　七日

神戸丸　同十八日正午十二時　十九日　二十二日

本船ハ神戸ニテ鐵道接續繫留ニ付キ同所ニテ切符購入御乘船ノ便アリ

毎日　午前十時半　函館發　午後八時半　室蘭著　翌日午前四時半

午後十一時　函館止メ　午後六時半（直航）　翌日午前六時半

○大阪商船株式會社及大家商船合資會社汽船神戸等出發表

韓國行

筑後川丸　明後二十七日午前五時大阪出帆同日正午前八時神戸出帆下關博多、鹽原、釜山、馬山行

隅田川丸　同日午前七時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司、下關、釜山、元山、城津行

大智丸　本月二十九日午前七時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司、下關、仁川、鎮南浦行

群山丸　同日午前七時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司、下關、釜山、馬山、木浦、群山、仁川行

基隆丸　同日正午十二時大阪出帆三十日午前十時神戸出帆門司、大連行（大連ハ大棧橋ニ繫留ス）

大信丸　四十年一月三日午前七時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司、下關、仁川行

清國行

大義丸　明二十六日正午十二時大阪出帆翌日午前十時神戸出帆門司、大連行（大連ハ大棧橋ニ繫留ス）

釜山丸　本月二十八日大阪出帆神戸、門司、上海行（船客ヲ搭載セス）

潮州丸　同日大阪出帆神戸、大連、芝罘行（船客ヲ搭載セス）

開城丸　同二十九日正午十二時大阪出帆同三十日午前十時神戸出帆門司、大連行（大連ハ大棧橋ニ繫留ス）

大仁丸　四十年一月二日正午十二時大阪出帆同二日午前十時神戸出帆門司、大連行（大連ハ大棧橋ニ繫留ス）

臺灣行

臺中丸　毎月十日、二十五日正午十二時神戸出帆門司基隆行

韓國清國臺灣沖繩行船客ニシテ大阪又ハ神戸ヨリ御乘船ノ方ニハ東京橫濱代理店並ニ兩市內出札所ニテ乘船切符發賣ス

浦潮斯德行

安平丸　本月三十一日午後五時門司出帆釜山、元山、浦潮斯德行

第704148号